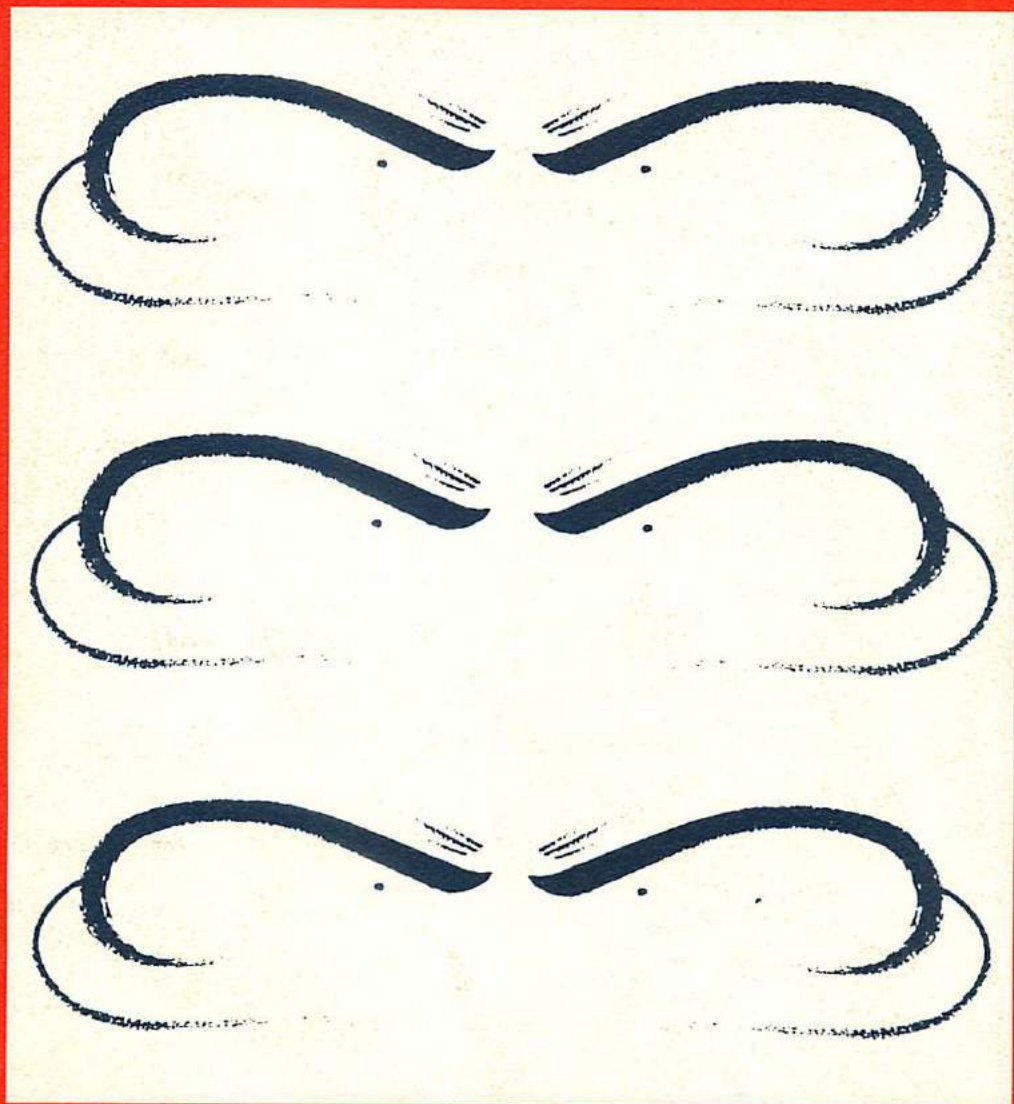


五 稜





誠協眞探 実調理求

北海高等学校
創立五十周年記念

校歌

一、ひんがしに 古城^{こじょう}いだきて

たたなわる 五稜^{ごりょう}の丘^{おか}は

若人^{わこうど}の 息吹^{いぶき}に満ちぬ

水上^{みなかみ}に ふるきをたずね

新しき 光^{ひかり}に立ちて

大いなる 力^{ちから}伸ばさん

二、さくら花^{はな} しるしと仰^{あお}ぎ

友^{とも}がきの 堅^{かた}く結びて

うち鳴^ならす 自主^{じしゅ}の鐘^{かね}の音^{おと}

ひとすじに まことを窮^{きつ}め

築^{きず}きゆく 理想^{りよう}のすがた

ああ とわに われら栄^はえあれ



三年A組



思い

出



三年B組

三年C組



の

アル



三年D組

三年E組



バム

修学旅行



伊藤先生楽しそう



次はどこかなっ！



それ、私の肉よ！



さようなら、お世話になった人々よ。



私はだれでしょう？



何年、長生きすると思う？



な——に てれてんだよ。



中 体 連



優勝をよんだ背負い投げ

柔
道
部



内に闘志を秘める!!

壮
行
会



あ——もうちょい

陸
上
部



ド ー ン



打った……でも 三位……残念だ

野
球
部



アクシデントがありながら……三位

庭
球
部

文化祭



すばらしい合唱でした。

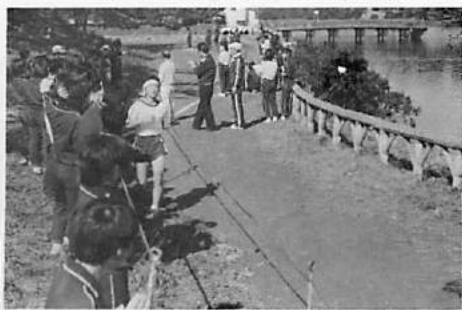


するどいスティックさばき



先生、おいしい？

マラソン大会



おつかれさん



ガンバルゾ——

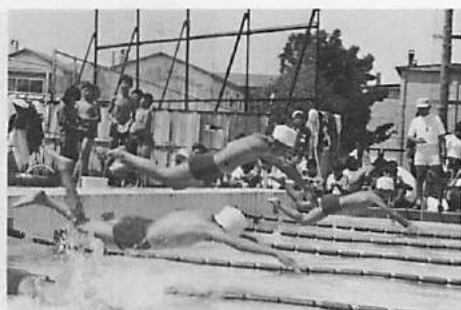


勝つのは私よ——

水泳大会



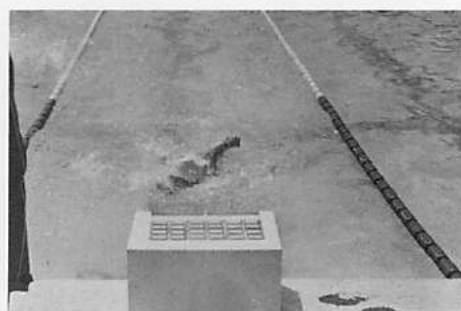
とびこむと痛いだろうなあ



きれいな？スタート



一位かな？



あと 2 m、がんば

運動会



早く食えよ——



クラスの名譽をかけて……

目 次 —「五 稜」23号—

◎ グラビア写真

◎ 巻 頭 言	学校長 寺岡守男.....	1
---------------	---------------	---

◎ 生 徒 会

.....	前会長 北野健治	2
・ 会長のことば	現会長 真狩弘夫	3
・ 生徒会この一年 =総務局日誌より=		4
・ 専門委員会		6
・ 課外クラブ		10

◎ 総務局特集		16
---------------	--	----

◎ 栄誉を讃える		26
----------------	--	----

◎ 学 級 紹 介

・ 1・2年		28
・ 3 年 卒業生寸言・先生のことば		38

◎ 先生寄稿「巻頭言をよむ」.....	教頭先生.....	53
---------------------	-----------	----

◎ 修学旅行記		54
---------------	--	----

◎ 文苑・研究発表		60
-----------------	--	----

◎ 本年度の歩み		70
----------------	--	----

◎ 職員住所録		71
---------------	--	----

◎ 編 集 後 記		72
-----------------	--	----

巻 頭 言



人にも郷土にも

学校長 寺岡守男

人の話や読書から種々教えられます。『栄枯盛衰の論理』という本の中で著者の山口比呂志氏が興味のあることを紹介していました。それは、フランスでおきた事件です。

昭和五十三年三月十六日夜、フランスの西北部のブルタニュー沖でリベリア国籍のタンカー十萬九千トンが座礁し、原油が同海岸に流れた。二十二万トンの原油が流出した。そこで、その地方の小・中学生が土曜日・日曜日の休日に全員動員し、重油のくもとりに汗を流した。パリの国営テレビも『フランスを救え、ポウル一杯の油をすくわぬ者は一人たりともブルタニュー海岸に立ち寄るな、車を持つてゐる国民は、どの海岸に行つて油をくみるとるか、海岸の村役場に電話するよう』呼びかけた、ということでした。

こういう例は、私たち日本人にはちよつと考えられないことではないでしょうか。フランスは日本と同じように、自由と平等を大切に、個人の尊厳を重視している文化的な先進国だと思えます。それが、日本の場合はどうなるでしょうか。タンカーが座礁し、原油流出の事故は日本の近海でもよく発生します。その時、フランスの真似をしようというではありません。国情や制度の違いもあり、その上、事件の緊急の程度もありますから、直ちに、フランスのように行動しようというわけではありませんが、私たち日本人の日常生活

活の中で、当然だと思つてゐる考え方や行動の中に甘さがあるのではないかと思うのです。

筑波大学の竹本先生の話では、フランス人は『すべての人々のために自分は在るのだ』という自覚をフランスの使命にしているとのこと。この原油流出に汗を流すフランス人の行動の根底にあるものは、『すべての人々のために自分は在るのだ』という自覚だと思ひます。この自覚は私たち日本人は学ばなければならないと思ひます。

もしも、このタンカーが、旅客船の座礁でなくさんの遭難者が悲痛な救助の声を寄せたら、私たちは献身的な救助活動に汗を流すのが通例です。したがつて、私たち日本人は自己の利害関係だけを重視し、責任はすべて自分以外にあるとする自己中心の人間ではありません。自分のまわりの人々に対し献身的に行動をします。しかし、自分が本当に生きるということは、まわりの人々と共に生きることであるとの理解はもちあわせていても、そのまわりの人々を支えているその町、その山、その郷土をみんなで大切にすることまで、考へが及ばないのではないのでしょうか。

会長として

旧生徒会長

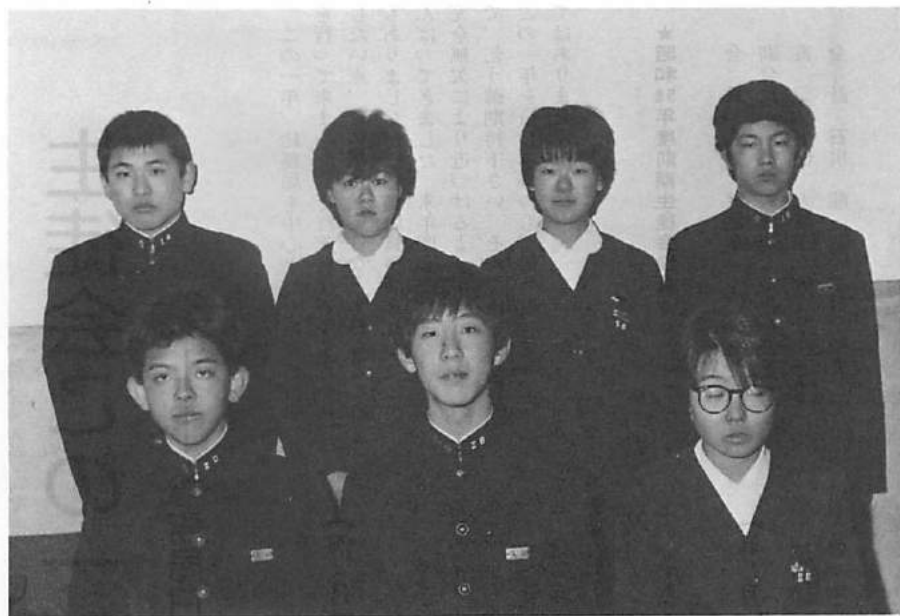
北野 健治

時の流れとは、早いもので、あとほんの少しで、中学校生活ともお別れをしなければならぬ……。

私は、二年生の後期から一年間、生徒会長を務めてきたわけですが、私は今、この仕事をして、大変良かったと思っています。自分にとって良かったと言っても、私は、みなさんに迷惑ばかりかけてしまつて、何一つ良い事をする事が出来ませんでした。本当にすまない気持ちでいっぱいです。しかし、今度の会長、真狩君ならば、私のような事は絶対しないと信じています。そこで、一、二年生にお願いがあります。まず一つ、『真狩会長ならば、きっとみなさんの期待に答えてくれると思いますので、みなさんの思っている事を意見としてどんどん出して、楽しく過ごしやすい学校を築き上げて下さい。』もう一つは、現生徒会役員に、『役員が一つ輪となつて、お互いに協力し、助け合い、素晴らしい五稜中学校に築き上げて欲しいと思います。』私たちが選んだ生徒会役員だから、絶対に実行できると信じています。役員に一言ノ全校生徒から選ばれた役員です。自分で悔いの残らぬように、しっかりと頑張ってください。

最後に、二年生の後期から一年間、一緒に活動し、私を助けてくれた、福田君、小松君、石川君、盛合さん、飯坂さん、木村さん、そして、最後の最後まで迷惑をかけてしまった石名坂先生、私は、心から感謝しています。本当にありがとうございました。





もつと興味を持って!!

現生徒会会長

真狩弘夫

僕が「会長」になってから少々だったが、自分としては、まだ仕事の「手ごたえ」というものがない。しかし、このページは僕の言い訳にあてらせてもらう。

みなさんは真剣に生徒会について考えてくれたことがあるだろうか。たぶん、あまり考えてくれた人はいないと思う。正直言って、僕も考えたことはあまりなかった。しかし「生徒会」というぐらいなので少なくとも我々生徒には関連してはくはずである。無視できるようなことではないはずだ。しかし、「なれ」なのだろうか。積極的に意見を言ってくれる人はほとんどいないのである。

しかし、意見を言わないからといって、全く意見がない、学校生活に不満がない、というのだろうか。中身の無い毎日に退屈しているはずである。「習慣」、「伝統」という言葉によって妥協しているのではないかと思う。

妥協するぐらいなら文句を総務局へどんどんぶつけてほしいと思う。また、改善への動きが総務局になれば、どんどん指摘していただきたい。だいたい会長からしてこうですから大したことはできないと思うが、みなさんの意欲次第で、これからの学校生活が大きく変わることだろうと思う。

大きなことを言って、ちっとも「言い訳」にならなかったが、みなさんの御意見、御指摘を待っている。

生徒会この一年

総務局日誌より

しよう。中学校最高の思い出になりますように……

【六月】

2日 校内体育大会

あまり良い天気ではありませんでしたが陸上競技場で勢いづいたがんばりました。

10日 生徒総会

代表の話より雑談が多かった気も……

でも、とても活発な討論が行われました。

19日 中体連陸上競技大会

みんな声をはりあげて、帰る時にはガラガラ声。応援に力が入りましたね。

29日 宿泊研修（30日帰着）

一泊二日の短い研修。でも一年生には大きな事だったでしょう。二年生はどこへも行けず、留守番でした。

この一年、総務局を中心とした数々の行事を行って来ました。それぞれ反省する点や残したい点、その場の適応性など未熟なところもありましたが、総務局員一同それなりにがんばってきました。来年度もこれまで以上に、完全無欠により近づけるようがんばりますので、乞う御期待下さい。それでは、去り行くこの一年を惜しみつつも、振り返ってみようではありませんか。

★昭和58年度前期生徒会役員

会長 北野 健治(3)
副会長 福田 久博(3) 盛含有美子(3)
書記 小松 大麗(3) 飯坂万貴子(3)
会計 石川 龍一(2) 木村 亜矢(2)

【五月】

8日 修学旅行出発（11日帰着）

思いつきり騒ぎましたか？ 多分四日めのバスの中は、とても静かだったことで

【七月】

19日 中体連七種競技大会

選手のみなさん、練習の成果はあがりましたか？ がんばれなかったところも次回期待

26日 第一期終業式

「わーい、夏休みだあ！」夏休みは嬉しくてその前に通信簿…。学習しよう!?

【八月】

18日 第二学期始業式

新しい気持ちで二期を迎えよう。と思
いながらも夏休みボケが…。

26日 校内水泳大会

天候にめぐまれ、背空の下で一致団結
思う存分泳ぎました。気持ち良かったで
すね。

【九月】

9日 生徒会役員立候補立会演説会

会長、副会長、書記、会計の四人、女子
は全員無投票当選。男子だけの選挙でし
た。

19日 五校中 大運動会

手ちがいもありましたが楽しくできまし
た。係の皆さん、大変だったでしょう?

20日 生徒会役員任命式

旧役員の皆さん、御苦労様でした。これ

から不器用ながらも私達なりにやって行
きますので、温かい目で見守っていて下
さい。

★昭和58年度後期生徒会役員

会長	真狩 弘夫(2)
副会長	鳴海 剛(2)
書記	若木 紀子(2)
会計	川上 知子(2)
	吉田 勇(1)
	菅原 圭子(2)
	笹田 泰賢(1)

30日 校内弁論大会

弁者の積極的な意見に聞いている方は圧
倒されていたようです。

【十月】

6・7日 第23回 桜花祭

今年はとても充実。先生達の「北国の春」
いかがでした?

15日 校内マラソン大会

新記録も生まれ、とても良い大会でした。
コースのコンディションが今一つ…。

【十二月】

24日 第二期終業式(予定)

【一月】

19日 第三学期始業式(予定)

【三月】

12日 卒業生を送る会(予定)

15日 卒業式(予定)

24日 昭和58年度 修了式(予定)

専門委員会



文化委員会

「国際交流の一年間」

昨年までの文化委員会、という運動会の点数掲示、文化祭に関する仕事、などが主な仕事でした。しかし今年からは「国際交流」というむずかしい仕事に加わりました。今年是一年目とあって、それほど活発に活動したわけではありませんが、成績優秀？な人達が集まり委員会の時などに、初歩的な英文などを書いたりしました。

その他、昼休み中に掲示物が破れたり、はがれていないかどうか見回りました。しかしどれもこれも「バツ」としたことはしませんでした。(スイマセン、反省します)そこで一言、今後文化委員になる人に言いたいのです。

今年達成できなかった事を、来年の委員の人達にやってほしいのです。文化委員会は、目立たない委員会のようなのですが、「縁の下」の力持ちなのです。(僕が言うので、まちがいありません)ぜひ頑張ってください。来年の委員のみなさん。

(大越・記)

生活委員会

「規律を心に」

生活委員の努力が足りなかったと言えはそれまでだが、今年の生活委員会の活動は反省点がたくさんあった。まずその一つに週番長による点検結果の集約が不十分であり先生がたに迷惑をかけたこと。それからもう一つに生活委員各自の自覚が足りなかったことで例えば朝、週番の生徒が校門を閉めるとき、先生がいらないことをいいことに、遅れて来た生徒に妥協し、中に入れたりするということでした。これでは何のための委員かわかりません。だからもっと委員一人一人に積極的な活動を望みたいところです。それから気付いたことなのですがみなさんの協力が少し欠けていたところ。服装・持ち物・居残り・遅刻などの違反が目立ち、生活委員会での活動の内容がまだ理解していないようですから今度からは各自が自主的に守るよう心掛けてください。そして注意されたら素直にすぐ聞き入れてください。最後に今後の生活委員は責任をもって頑張ってください。

(永洞・記)

学習委員会

「朝学習にもつと工夫を」

あと少しで、今年度の活動が終わる。

今年度の活動目標は「朝学習の徹底」と、学習常規を守らせる」の二であった。

朝学習の方は、割合徹底できたクラスが多かったが、学習常規の方は、各クラスでの取り組が十分でなかったように思う。

それは、ただ学習常規を書いて掲示しただけで、それを守る方法を考えなかったクラスがあったからである。中には、学習常規も掲げていないクラスもあった。

また、朝学習の方法も、作った問題をただ配るというクラスが多くて、自分たちで問題を考へて作ると言うなどの工夫が足りなかったように思う。

全体的に見て、委員の自覚が少し足りなかったと思う。

来年度は、委員一人ひとりがもつと自覚を持って活動にのぞんでほしいと思う。

(神生・記)

保体委員会

「行動派の保体委員会を期待し」

今年の保体委員会のできれば、というところでもなければ、悪くもないまあまあというところでなかっただろうか？

だが、一つ欲を言えば、人をたよらずに積極的に自分から行動してもらいたかった。

今年の保体委員というか、後期の保体委員会は、自分から保体委員を選んだものが多かったが、ただやる気があればよいというものではない。やる気ももちろん必要だが、それ以上に行動に移さなければ無意味になってしまう。だから、こんなことのないように日頃から積極的に発言でも、行動でもしてもらいたい。そしてまた、今年でできなかったが、もともとつと活発な委員会にしてもらいたい。そして、保体委員としての苦しさの中の楽しさを知り、次回の時もぜひ保体委員をやってほしいものです。そしてぜひみんなに保体委員の楽しさを知ってもらいたい。

「みなさん、保体委員会は、永遠に不滅です」
(宮地・記)

給食委員会

積極的な活動を!!

積極的に活動をした事というと、白衣着用の点検があります。白衣の点検ということは去年の後期以来ずっと活動をしなかった事です。でも今年の後期には、委員の積極的な意見があり「白衣の点検をしよう」という声がありました。そしてこの事により白衣を着用せずに給食室へ入ってくるような問題点も少なくなりました。でもまだ白衣を着用せずに入ってくる人は少なくありません。

ところで、クラスでナプキンをはいて給食を食べている人は何人いますか？

残念ながら、ナプキンをひいて食べている人の方が、ひかずに食べている人の方が多いはず。このような問題は今後の委員活動によって徹底していかれるでしょう。

積極的に活動をするためには、一年から三は、委員の積極的に委員活動をする事です。今後の委員会活動に期待します。今学期の活動に今、深く反省します。

(野呂・記)

整美委員会

“美化とはなんだ”

整美委員というのは、みなさんはただ校内だけをきれいにするものと思っているのだけれど、それは大きなまちがいです。

きれいにすることとは、人の心も美しくすること、つながると私は思います。すなわち、きれいな教室や整理された教材などにより、いっそう学習意欲もわくし、物を大切にする心も生まれてくると思うのです。整美委員は、どの学校でもなくてはならない委員なのです。整美委員があつてこそ、学校が美しく、清潔に見えるのであると、私は三年間思つて来しました。

そのためには、みんなで「整美」と言う言葉の意味を、しんげんに考えてほしいと思います。

一、二年の後輩のみなさんへ、私から一言。五稜中学校を、どこから見てもはずかしくない、すばらしい世界一きれいな学校に、作りあげて下さい。

(佐藤・記)

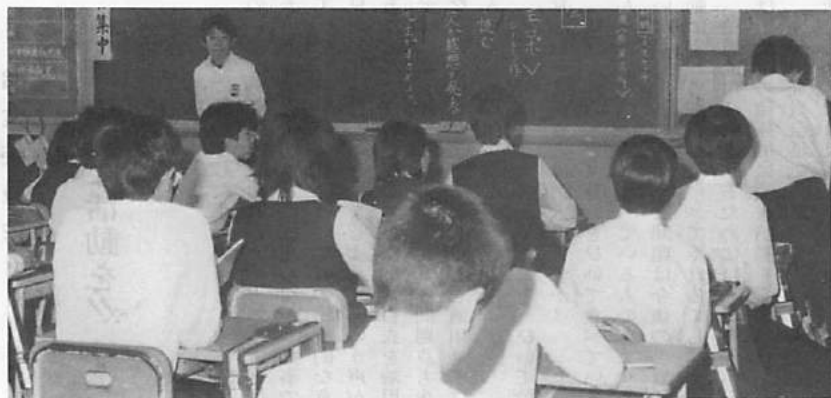
図書委員会

“有意な学級読書会”

みなさんは、図書館をどのように利用して来たでしょうか。図書館なんて寒々してるし本しかおいてないから興味ない。なんて人はいませんか？ 図書館には、すばらしい本がいっぱいつまっています。私達の興味は、つきることがありません。そして、その心を満たしてくれる所が図書館なのです。五稜中の多くの生徒にたくさん本を読んでもらうことが私達図書委員の希望なのです。

委員会活動としては、週一回の図書館の当番くらいなものです。短い時間の中で本の整理など一人一人がまじめに役目をはたして行きました。学級読書会では、中心となって動くため必死でした。今回は図書委員一人一人が心をこめて、みんなの書いた感想文を立派な本に作りあげました。全員がこの会で本とのふれあいを深めたことで、とても有意義な時間でした。これを機会に、本っておもしろいなあ。もっと読みたいなあ。と思う人が出てくれれば本望です。

(井田・記)



放 送 局

「五稜中放送局の一年」

今年四月、新学期が始まると同時に、放送局を担当する先生がかわり、新しく一年生の部員を加えて、放送活動は、新しい気持ちでスタートしました。

四月から、十月の文化祭が終わるまでは、三年生が、中心となって活動をしてきました。

十月には、待ち望んでいた放送機械が新しくなり、今まで十年間つかっていた古い機械にくらべると、おどろくほど、性能がよくなり、放送の仕事も色々とやりやすくなりました。

文化祭でのサテライトは、大変好評で、二日間たくさんの生徒が、参加して行われました。

これからは、放送の内容をよく考えて楽しく、親しみのある番組を作り、アナウンサーやミキサーの仕事もよく研究して、よりよい放送を、お送りするように努力したいと思います。

(芹川・記)



応 援 団

「中学生らしい応援」

今年の応援団は、昨年の応援団のようなまともではなかったけれども、なかなか、全員声を出してたように思います。以前、石崎先輩というお方が「長ラン・ボンタン・リーゼントで迫力を出す前に、ガンつけられられてもまけないようにしておけよ。」とか「それから伊藤先生にジューズおごってもらえよ。」などを書いておりましたが、今年はガンつけられなかったにしろ、僕とあと二人は、伊藤先生にかなりごちそうしてもらいました。服そう髪型もとてもよかったです。

ところで来年の応援団へ、もっと団長、その他の言うことをきこう。今年のように、服そうもきちんとしよう。もし他の学校にガンつけられたら、いきがらないでみんな走ってにげろ。最後に今年の団長のように、電車の中に団旗をわすれないようにしよう。

団旗は大事に、まちがってもハサミなどで切りさいて遊ばぬようにしような。

(黒川・記)

課外クラブ



野 球 部

健闘した野球部

五稜中野球部は毎年のように……とは言っても3年間、一回戦ボーイと言われ続けてきたのだが、三年生にとっては最後の大会、中体連に運が舞い込んだと言おうか、たまたま対戦相手がよかつたとも言おうか、まあとにかく3位になってしまった。でも、あたりまえといえはそれまでで、とにかく練習しましたからね、雨の日も、風の日も……オーバーですけど。でも、あの苦しかった練習も今思うとなつかしく思えて、また練習したいような気がしてくる。ただでさえ苦しい練習の中で重荷になった三年生だったと思うけど考えるとやっぱり重荷でした。でも、三年生にとっていい思い出になりました。二年生ノ頑張ってくれノ期待してるぞ。最後に、お世話になった先生方、ありがとうございます。〔これからも野球部をよろしく願います。〕

五稜中野球部 OB 一同

(川村・記)

ス キー 部

知られざるスキー部

現在スキー部では、男子9名というわりあい少ないクラブです。

五稜中学校のスキー部の歴史は、昭和四十年の一度だけしか優勝したことがありません。

今年は、あまりいい成績では、ありませんでした。

だけど、三年生の大田君が、三年生の部で五位になりました。

練習は、冬休みの一月十六・十七・十八の三日間と学校がはじまってからは、日曜日をかけて練習をしてきました。練習内容は、ポールをぐぐったり、内回りターン、外回りターン、ステップターンなどの練習などをしてしました。一年生は、はじめ二年生との差がありました。練習をすることに、だんだんついてこれるところまできました。そして中体連、一年生は、とてもきんちようしていたようでした。

(武井・記)

サッカー部

男・イコール・サッカー

我々サッカー部は、顧問の先生やキャプテンを中心に、中体連へ向けて、毎日、グラウンドを三―五周ランニングし、トラップ、ヘディング、ドリブルなどの基礎練習をし、それからフォーメーションの練習、最後に三―五周のランニングで終えるような練習を、暗くなるまでしていた。我々が三年生になってからの練習試合では、対大川中二対一、対西中二対〇、対本通中二対〇、対潮見中二対一、対的場中二対〇と、六戦全勝失点二とすばらしい戦績をおさめた。そして、いよいよ中体連である。我々は皆、「勝利」という二文字を頭に入れ、試合に臨んだのである。我々は善戦したが、結局、結果は二対〇で負けてしまった。我々は一回戦の壁を破ることが出来なかったのである。そこで、後輩の諸君に一言、君たちは、今まで以上に練習に練習を重ねて、中体連では、我々の屈辱をはらし、優勝とはいわないが、三位入賞だけは、果たしてほしいと思います。

(中者・記)

柔道部

全道での体験を生かせ!

今年の我々柔道部は、大きく飛躍し、五稜の名にはじないものだったと思います。昨年の屈辱をはらすため、毎日猛練習をつみ、中体連にのぞんだ我々は、予選を全勝で勝ちぬぎ、決勝トーナメントで、湯川、戸倉を破り、そして決勝で凌雲をも破り、ついに念願の優勝旗を手にしたわけです。更に運よく、渡島大会にも勝つことができた。全道大会出場がきまりました。しかし、全道大会は、我々が思っていたほど甘いものではなく、連勝つづきで有頂天になっていた我々とは、比較にならないほど強いものでした。(成績は、予選で2勝1敗に終わりました。)

一、二年の後輩達には、この全道の体験を生かして、ますます練習にはげんでもらいたい。(来年、期待してるからカンバレヨ。)

最後に、今まで指導して下さった先生方に一言。今まで本当に、ありがとうございました。

(藤井・記)

那沙

那沙の楽しさ

「あとよろしくたのんます」

三年間つて、はやいもんですねえ。あれまあれまといううちに三年がたつてしまつて、三年間の間に色々なことがありました。那沙は、暗いというイメージに、「おしん」のようになえ(どこが...)じめじめと頑張つて来ました。いつになったら日の当る所で日向ぼっこができるのだろう。よう、後輩、よろしくたのむぜ。我々は今、立ち上がらなければならぬのだ!(!?)

と、まあ、私が部長になったのがよけい暗いものになったと反省してます。(ゴメン)

那沙の諸君、アニメを作れるようになったら未来は明るいぞ、ちなみにアニメ作るのは1秒、24枚のセル画をつかうぞ!アハハハハ頑張つて下さい。と言いつつ私達は消えるのであった。(テレビポーション)

・THE・END・

(芦田・記)

バスケット部(女)

わが栄光のバスケットボール

あつ、という間に、三年間がすぎてしまいました。そんな中でわが五稜バスケット部は、毎年毎年、中体連・新人戦、共に、二回戦で姿を消され、三回戦出場は、夢となっていました。それでも、バスケットにかけた情熱は、他のどんなに強いチームよりも、優っていたと思います。

最後になりましたが、こんな弱小チームでありながら、私達と共に、一生懸命になっていろいろなことを教えてくださった石井先生本当にありがとうございます。そして、後輩の諸君！これからも頑張ってください。

4	山	形
5	中	平
6	吉	田
7	工	藤
8	寺	沼
9	佐	藤
10	津	川
11	浅	村
12	斉	藤
13	加	藤
14	金	谷
15	川	本

(山形・記)

水泳部

“石津軍団!”

雪にうもれているプールを見ると、夏、太陽の光を水面いっぱいを受けていたプールがなつかしく思えてくる。

今年、新たな出発点に立った、我が水泳部名を“石津軍団”とあらため、石津団長に従う男子2人・女子10人の12人で歩き始めた。今までとちがった方針・練習方法・eat……

団員は、石津団長を困まらせてばかりでした。スミマセン……!

私達3年生は、後輩のあなたたちに、あざやかな“石津色”に、染まってほしいと思っています。

それと、もう一つ。

中体連の時は、自分の全力をつくし、最後まで一生懸命がんばってください。

あきらめちゃだめだよ!!

。。。石津先生、お世話になりました。いつまでも お元気です。。。。

(今井・記)

女子テニス部

テニスが好き仲間達

三年前、私達はテニス部に入り、去年の七月まで部活をやり続けました。もちろん、途中から入った人もいます。最初は、興味津津でやっていました。でも月日が、経つにつれて、テニスを言うものは、私達三年生にとつて掛替えのないものになりました。部活は、やれば、やるほど上達し、おもしろくなっていきます。でも私達が、そのことを知ったのは、ずうーつと後のことで、私達が三年生に入ってからのことです。三年生になつてからは、いやに時間が経つのが早いような気がして、三年生はみんな必死でした。やはり、みんな、テニスが好きな人だと思います。たぶん、みんな今でも、テニスを好きだと思っているでしょう。ですから、これからのテニス部も、みんなが心から好きになれるような、テニス部をつくって下さい。それは、決して難しいことではないと思います。これから、いろいろな、事があると思いますが、がんばって下さい。

(葛西・記)

バレー部

「今度こそは！」

我々バレー部の今年の成績はというと……中体連では二回戦、新人戦では一回戦で敗れてしまいました。中体連では三年生がいなかったということもあり、いろいろたいへんでしたが、なんとか一勝でき、我々は勝った喜びをかみしめたのでした。新人戦では、登録ぎりぎりの部員しかおらず、しかも中体連で上位だった本通とあたり、少しばかり弱気になったりもしましたが、卒業していった先輩達の応援もあり、皆、それぞれがんばったとおもいます。本当にあともう一歩、といったところでした。

二年生にとって、今度の中体連が最後の試合です。「今度こそは」という気持ちで来年の中体連にむけて、がんばっていきたいとおもいます。

顧問の大坂先生、板東先生、その他お世話になった（なる？）先生方、これからもまだまだ未熟なバレー部ではありますが、よろしくお願いします。（若本・記）

男子テニス部

後輩たちへ

今年度の男子テニス部は、中体連の団体戦で第三位になって、まずまずの成績を残したわけですが、今考えてみると、練習中にふざけてみたり、さぼってみたり、これが第三位にとどまってしまった理由だと思います。

予選で本通にてこずってみたり、決勝で、的場や旭に全然歯が立たなかったのも、このせいだと思います。ですからみなさんは、練習中に息ぬきをするのもいいですけど、練習が始まったら、真剣にとりくむというようにくじめをつけるようにしてください。

ところで、新人戦をみた限りでは、とびぬけて、強いところもないみたいなので、団体優勝も、夢でないように思われます。的場にも、とてもうまい選手もいないようだし、旭も、年々、弱くなってきたので、練習さえきちんとしていれば、たぶん団体優勝できると思えます。そして、金道大会、全国大会へと目標をたてて、一生懸命がんばってください。（藤田・記）

吹奏楽部

吹奏楽よ永遠に^{とわ}

わが吹奏楽部は、一年を通してたえず活動しています。行事なども豊富でやりがいのあるクラブだと思います。

春、桜の花が咲き乱れるころの五稜郭祭、市内をパレードします。

夏、真赤な太陽が照りつけるなかでの、吹奏楽祭、マーチングフェスティバル。

秋、風に吹かれ落ち葉舞うころ、期待高まる函館地区コンクール、そして秋深まるころ北海道大会が札幌で開かれます。

冬、シーズンオフの唯一の大会アンサンブルコンクールがあります。このように四季を通じてたえまなく活動しています。また五稜中学校吹奏楽部は、水準がたかく地区大会では優勝、全道大会でも銀賞をとるなどここ二・三年の間にずいぶん成長しました。また、これからもどんどん成長するクラブだと思います。ですから、今度の大会でははくからも果せなかつた全道大会金賞をぜひとってほしいです。はくからも応援しています。（後藤・記）

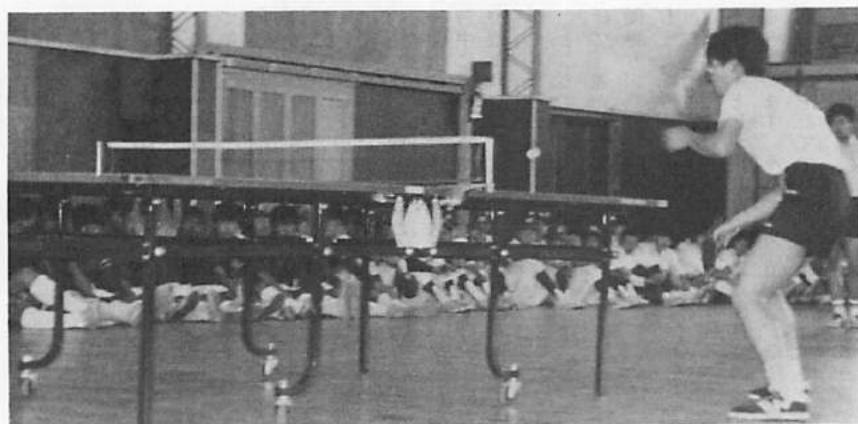
卓球部

優勝をつかむ

今年は、昨年経験のある越田先輩が主将となつて、他校との練習試合もまじえての中体連出場でした。出場選手はみんな緊張もとれて自信満々で試合に挑みました。結果は、団体戦は3回戦止まり、シングルスはベスト8ともう少しのところまで全道大会出場を逃がしてしまい、とても残念でした。

試合に勝つためには、我武者羅に練習をしなければいけないと僕は思いました。が、現在、前部長から卓球部をあずかつてから半年が過ぎたというのに全然進歩がありません。まず第一に、まともにフットワークの練習をやらず、やったのは夏休みの間だけ。これでは強くなれないと思ったのですが気づくのが遅くおかげさまで新人戦は最高3回戦までと期待していた結果にはなりません。今度からは、真面目にフットワークをし、人一倍練習をし技術を身につけ来年は、みんなで念願の中体連優勝をつかもう。

(鈴木・記)



リコーダー部

弱小リコーダー部

四月に部員が十一名という少人数!?で練習が開始された。(伝統みたいにあまり部員が集まらないのですよ)練習風景を見てみるとけつこう楽しく活動していた。しかし、基礎が完ペキ!になった時、コンクールの曲目が決まった。みんな必死になつて練習がはじまった。(特に我々三年生が最優秀賞をだいたい意識していたようで——)夏休みには合宿も実施された。

コンクールが近づくとほとんど毎日遅くまで練習していたことがとても大変だった。それで練習の成果は!?といいますが、二チームが参加し、『最優秀賞』と『優良賞』を受賞。思ったよりも成績が良くてとてもうれしかった。なかには、感激のあまりに涙がポロッと落した人もいたとか……。

我々三年生が卒業してもがんばって下さいネ!来年もぜひ最優秀を……と期待しているから。それから長岡先生どうも有りがとうございました。

(前田・記)

写真部

この一年間の写真部

われわれ写真部員は、スナップを写したり引き伸ばしを中心に、活動を行なっておりま
す。この一年間、体育大会、運動会など、大
きな行事を写してきました。これらの活動の
中で、文化祭では、四切りの作品を、一人一
点展示しなければなりませんでした。これは
なかなかむずかしいもので、すぐにできた人
もいましたが、ぎりぎりにできた人もいまし
た。でも全員が、展示することができました。
この一年、もう一つありました。

しかし、暗室作業について反省しなければなら
ないこともありました。何もしないでさわ
いでいたり、こわしたり、注意をうけたこと
もあります。写真部は、運動部とちがって、
目立った活動はできませんが、写真部は、い
ろいろと、やくにたっているのです。これか
らの写真部は、よい写真部になるように、後
輩たちに、期待しています。

(橋山・記)

バスケット部(男)

アツイ「2回戦の壁」

現在、我々バスケット部(男子)は18人、
この人数で毎日体育館の中を、汗びっしょり
になって走り回っている。皆、一人一人自分
の力を向上させるために、必死になって練習
にはげんでいます。僕が入部して早くも2年
間、今まで新人戦・中体連など数多くの試合
を見てきたが、いずれも2回戦止まり。

どうしても3回戦に進めないまま、先壁か
らバトンをもらった。しかし、今年の新人戦
も、2回戦の壁を破ることはできなかった。

僕ら二年にとって来年の中体連で最後だ。
来年こそは、「2回戦の壁」を破り、そして
ベスト4まで進めたならもう僕は満足だ。

悔いの残らないよう一生懸命頑張り、後壁
にバトンを渡したいと思っています。

二年・杉ノ原 石川 鈴木 磯 藤井 坂本

鈴木 鈴木 猪股

一年・須田 嶋田 金沢 木村 山根 黒政

小松 吉田 樋口 河井

監督・石井 寿八

(杉ノ原・記)

科学部

「来年へ向けて」

科学部は、去年より新入部員が多くなり、
一年生が十三名、二年生が六名、三年生が五
名の計二十四名と担当の先生の平向先生で活
動時間が例年より多くなったのが今年の特徴。

日常の活動は、去年に引き続いて実験セミ
ナールの活発化をはかり、積極的に意見の交
換をし、実験の技術も上がった。

文化祭の準備は、土曜日の午後の活動や普
段の実験ゼミナールなどのおかげで、割合ス
ムーズに行く、慌てることが少なかった。

また、年に一度の函館市の研究発表会で、
二年生は、「月の色の観察」、三年生は、「
函館湾の汀線研究」の第二次の結果を発表し
「月の色の観察」の方は、北海道審査で優秀

賞をとることが出来た。

来年度は、研究テーマに、「水紋の研究」
「酸性雨の測定」を計画して、来年度は今年
以上に充実した活動を続けていきたいと思う。

(神生・記)

総務局特集

五稜中生診断

PART III

＝ アンケートにみる生徒の意識と生活 ＝



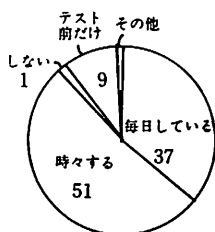
今探る！五稜中生の実態！！

五稜中学校という前人未到の地に、我々総務局取材班が潜入し、その中にいる五稜中生の意識調査を敢行し、その実態を徹底的に探った。

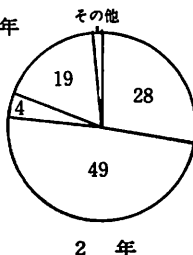
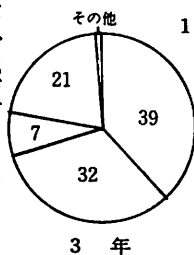
10ページにわたるこの調査結果！

じっくり ごらん下さい。

このグラフをみて、気が付いた人も多いと思いますが、学年が上になるにつれて、少ないという人が増えてきています。一体この学校は、どうなっているのでしょうか。本当なら減らなくてはならないのに、もう一度、自分の学習のあり方を見直す必要がありますね。



(回答の数字は全て%を示す)



◎問一 あなたは、毎日家庭学習をしていますか？

A 家庭学習について

一・二年生は、三十分～百二十分が一番多いようですが、三年生は、やはり、自分のペースでやっているようです。

その他・無回答 1

33時間以上	83時間以内	41	33	14
		2時間以内	1時間以内	30分以内

1 年

3	1	9	40	30	19
---	---	---	----	----	----

2 年

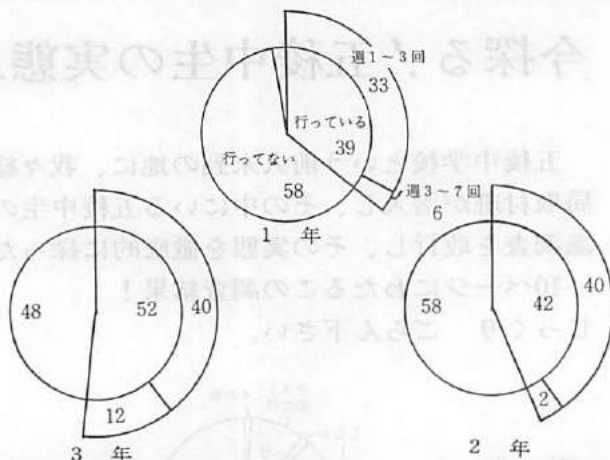
5	17	21	32	18	7
---	----	----	----	----	---

3 年

◎問二 家庭学習の平均時間は？

◎問三 現在、学習塾に通っていますか？

予想外にも、行っていない人が、半分位いるようです。
五稜の生徒は、すばらしい人材の集まり…。



B 個人生活について

◎問一 あなたは、余暇をどのようにして、過ごしていますか？

- 1、テレビ・ラジオの視聴
- 2、睡眠
- 3、読書
- 4、遊び
- 5、音楽鑑賞（レコード・カセットなど）
- 6、自由に
- 7、勉強
- 8、マンガ

やはり、五稜の生徒も現代っ子。テレビがダントツ。

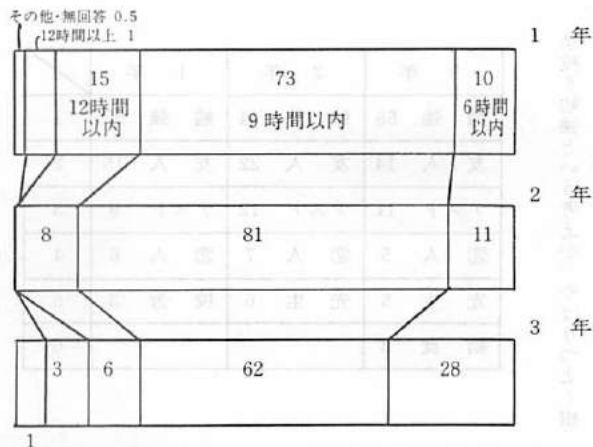
つづいて「睡眠」

自分から進んでするような事は好まないみたいです。

面倒くさがり屋さんばかり。

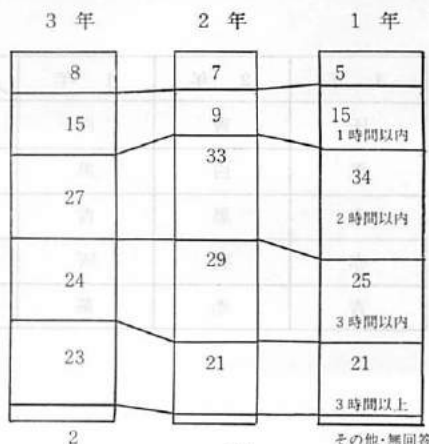
◎問二 あなたは、睡眠時間を一日平均何時間位とりますか？

睡眠だけは、中学生の平均分だけ、とっているようです。それにしても、半日も寝てる様なのは、どう一日のスケジュールなのでしょう。まさに、牛の生活です。



◎問三 あなたは、テレビを何時間位見ていますか？

3時間以上見ている人が、だいぶ多いようですが、帰ってすぐテレビ”という習慣を持っている人が、だいぶいるようです。
※教訓 テレビは偉い人が見るものです。



C 学校生活について

◎問一 「学校」と聞いて、何を思い出す？

3 年	2 年	1 年	
勉強 58	勉強 44	勉強 57	1
友人 14	友人 22	友人 15	2
テスト 11	テスト 12	テスト 9	3
恋人 5	恋人 7	恋人 6	4
先生 5	先生 6	校舎 3	5
給食 3			6

学校＝勉強という考えが、やはりつよく根ざしているようです。

他に、給食……という人がちょっといますが、わかる様な気がしますね。



◎問二 「学校」って、何色？

3 年	2 年	1 年	
灰	青	白	1
黒	白	黒	2
白	黒	青	3
赤	灰	灰	4
青	赤	茶	5

暗い色が大変多い。

学校生活があまり楽しくない、という意味に取れますが……まあ学校の壁の色をピンクか水色にすると、印象も良くなると私は思います。

◎問三 学校内で一番好きな場所、嫌いな場所は何？

好きな場所

3 年	2 年	1 年	
教室	教室	教室	1
保健室	体育館	体育館	2
トイレ	保健室	音楽室	3
体育館	職員室	保健室	4
職員室	トイレ	トイレ	5

嫌いな場所

3 年	2 年	1 年	
職員室	職員室	トイレ	1
トイレ	トイレ	職員室	2
教室	教室	教室	3
美術室	体育館	音楽室	4
体育館	廊下	廊下	5

教室というのは、ストロブがついている、ということ、友達との交流場ということで親しまれているみたいです。
職員室というのは、やはり、怖い場所という印象が強いです。
全体的に、好き・嫌いという場所は、いちがいに指定できないようです。



◎問四 学校生活で最も楽しいことは？

3 年	2 年	1 年	
おしゃべり	友人との交流	休み時間	1
休み時間	部 活	部 活	2
給 食	勉 強	友人との交流	3
勉 強	給 食 文化祭	給 食	4
放 課 後	修学旅行	遊 び	5

あの10分休みに、いったい、なんの喜びを感じるのだろう。授業に耐えたあとの春の喜び。はたまた、授業中にアホなことをやった奴をバカにして遊ぶ喜びか……!? 勉強と書いた人は無視して、次の項目へ……

D 個人意識

◎問一 あなたの好きな、嫌いな言葉は？

	男 子	女 子	位
好きな言葉	根 性	愛	1
	努 力	努 力	2
	愛	友 情	3
嫌いな言葉	勉 強	勉 強	1
	死	ブ ス	2
	テスト	バ カ	3

男子の方で好きな言葉は、根性・男らしい
女子では、愛・女らしい……♡

嫌いな言葉、男女とも、勉強。女子は「肉
体的欠陥」という言葉が嫌いなようです。

「男子諸君に嫌われないように。」



◎問二 あなたの好きな、嫌いな色は？

嫌いな色		好きな色		
女	男	女	男	
茶	茶	青	青	1
オレンジ	黒	黒	赤	2
緑	ピンク	白	黒	3
紫	緑	赤	白	4
黒・黄土	黄	水色	緑	5

両方とも1番が、「青」という所がいいで
すね。

茶色は、みんなの嫌われもの。

かわいそ……♡

◎三 この世の中で、一番美しいもの、一番醜いものは？

醜いもの		美しいもの		
女	男	女	男	
戦争	先生	愛	自分の顔	1
他人	悪	自分の顔	女	2
心	女	友情	愛	3
憎しみ	自分	自然	花	4
自分	ブタ	心	自然	5

自尊心が強く、自分を賛美する人が五稜にも増えつつある。
その反対には、人間のみにくさがあげられている。
みにくいものは、この世から追放せよ!!



◎問四 一九八三年を象徴したものは？

男 子	女 子	
いのしし	いのしし	1
田中角栄 ロッキード判決	大韓航空機事件	2
大韓航空機事件	レーガン来日	3
天 皇?	田中角栄 ロッキード判決	4
西武優勝	女子バレーボール アジア大会優勝	5

この項目はほとんど、
に比例している。
さすがに今年のそと、
セント提示ですね。
1983年の十大ニュース
いのししはすごいパ



男子の将来は、みんな大物になりたがっているみたい。実現する人は、はたして何人か。
 (But) みんな無理な夢もってるから……
 (どうかな) 女子は現実を見つめての夢です。
 どちらかといえば、男子の方が、大きな夢もっているみたいです。

男 子

- | | |
|-------|--------|
| 1、大 人 | 4、社 長 |
| 2、金持ち | 5、総理大臣 |
| 3、歌 手 | |

女 子

- | | |
|-------|-------|
| 1、結 婚 | 4、看護婦 |
| 2、保 母 | 5、先 生 |
| 3、美容師 | |

◎問五 将来の夢は、何ですか？



五稜中生診断総合所見

◎家庭学習について◎

普通であれば、三年生が一番勉強しているはずが、今回の調査では、なんと、一年生が一番しているようです。今年の三年生は、少し、余裕をもっているのでは……。

果して来年はどうなることでしょう。

◎個人生活について◎

五稜中の生徒もやはり、現代っ子ですね。

家の中にとじこもってしまつて、外で遊ぶうとしない。みなさんもわかつてるように、中学・高校時代というのは青春の真ただ中です。みなさんも、外に出て、青春のパワーを、ぶっつけてみませんか？

◎学校生活について◎

五稜中学校は、はっきり言って、*“暗い”*ですね。それから、学校にいても、やはり、あまり動こうとしないようです。学校にいる時ぐらいいは、大いに体を動かした方がいいではありませんか？

◎個人意識◎

前回の調査の時と今回とでは、あまり変化がなかったように思われる。ただ今年から新たに設けた*“将来の夢”*という質問で、男子と女子の夢のち方の違いを発見した。

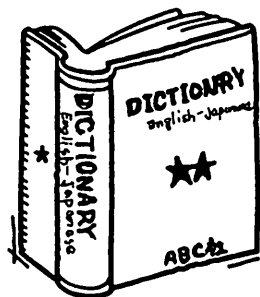
女子よりも、男子の方が夢を大きくもっているようです。しかし、ちよつと無理な夢をもっている人も何人かいました。

◎全体を通して◎

全体を通して見てみると、五稜の生徒は、睡眠時間やテレビを見る時間が多いわりには、よく勉強しています。大変よいことですね。それから、五稜の生徒は、*“マジメ”*だということがわかりました。

悪い点を言いますと、生徒会の目標にもなっている、自主的に行動できる力を*“の”*自主的に行動することが欠けていると言うことです。自ら行動を起こすことができなければ、本当の青春とは言えないと、僕は思います。

(文責 北野 健治)



栄誉を讃える

【体育部門】

◎陸上競技大会（中体連）

男子総合

第五位

百 M

第三位

百 M

第三位

四百 M

第三位

百十 M H

第二位

四百 M R

第二位

女子

百 M

第三位

百 M

第六位

◎柔道大会（中体連）

団体優勝（全道大会出場）

個人戦

一年の部

三年の部

中量級

軽重量級

重量級

四百 M R

第四位

三種競技 A

第四位

三種競技 B

第六位

第一位

第四位

第六位

第一位

第四位

第六位

第五位

第六位

第一位

第二位

第一位

藤原・坂本

横浜・金谷

飯田ひろ子

木村 直美

吉田 勇

千葉 君明

大石 和地

北野 健治

藤井 光

尾山 慎一

斎藤 博文

榎一

光

慎一

博文

◎庭球（中体連）

団体 女子

個人 男子

女子

◎野球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

野 球（中体連）

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

第三位

藤田 研二

新谷 敏明

山本亜紀子

木村 直美

赤石 美雪

赤石 美雪

太田こずえ

今井 早織

葛城 理恵

理恵

理恵

理恵

理恵

理恵

理恵

【文化部門】

◎全函館児童生徒席書大会

ユネスコ協会賞 阿部 彰子

◎第五回函館木工工作展

入選 三年 藤井 光

◎函館市中学生理科研究発表会

奨励賞 「月の色の観察」

神生 真敏・真狩 弘夫

真狩 法夫・菊池 満史

鈴木 亮・芹川 義和

◎第二七回日本学生科学賞

読売新聞社賞 「月の色の観察」

◎リコーダー協会主催コンクール

努力賞 木澤 美佳・井田 陽子

前田 淑恵・菅原 圭子

◎HBCこども音楽コンクール

最優秀賞（地区代表）

木澤 美佳・井田 陽子

前田 淑恵・菅原 圭子

優秀賞

石黒千佳子・佐々木浩美
高井 美重

◎第三一回全日本吹奏楽コンクール

北海道大会 銀賞（北海道厚生年金会館）

◎第二八回北海道吹奏楽団体コンクール

函館地区大会 金賞（函館市民会館）

◎第二回コーチング大賞

（函館市民体育館）

◎第三六回函館地区珠算競技大会

そろばん中学生函館一 尾山 珠生

個人競技 第一位

読上算競技 第一位

◎第六回北海道珠算選手権大会

読上算競技 優勝

◎第十四回南北北海道珠算競技大会

個人総合競技 第一位

読上算競技 第一位

読上暗算競技 第一位

◎第一七七回珠算検定試験

八段 合格



学級紹介

一年A組

我々一年A組は、男子21名、女子21名の計42名で成り立っています。

さて、その一年A組の授業態度は発表が少ないわりにチョット騒がしいようですが、ひとたび授業が終わると今まで「シーン」としていた人の元気なことで、それで悪のりして怒られることもたびたびです。

我々一年A組にはみんなで力を合せて勝ちとった賞状が7枚あります。それらを全部紹介してみると、校内陸上競技大会で男子はみごと第一位になりましたが、女子は残念ながら……。

校内水泳大会では、男子第二位、女子が意外にもよく健闘し第一位になって陸上競技の時の名誉を挽回しました。そして、我々はみごと学年第一位に輝きました。



そして、一番苦労したのは、あの合唱コンクールではないでしょうか。この時は朝早く学校に来て、練習しました。時々学活の時や、放課後に練習をしたりしました。合唱はテナーの声が小さくてよく怒られましたが、なんとか声が出るようになりコンクール前日は、一Aが一番だろうと思われていました。が、当日になるとみんな緊張してしまい、おしくも第二位になってしまいました。



その他にも校内体育大会では、男子が第一位に、壁新聞コンクールでも第一位を取り宿泊研修の学級発表でもみんなよくやっていました。

公開授業では、前に書いたのとうって変わりみんなまじめな態度で立派にやれた。この事で一Aは校内でも評判になりました。これらの事から一年A組は、大事な時になるとみんなが一つにまとまり団結する団結力が強いという事がわかります。我々の学級目標の一つに「責任を持ち何事もがんばろう」とありますが、一人一人が自覚して、自分の今やるべき事に責任を持っていたからこそ、以上のような優秀な成績や結果を残せたのだと思います。

(吉田幸司 記)

一年B組

ぼくたち一年B組

ぼくたち一年B組はとっても明るい学級です。なぜならB組は、自由を主とし正義を守る、いわゆる「協力」の鏡と言っても過言ではないからです。また、自慢ではないけれど学問に関しても決しておとらず、よい結果をもたらし、スポーツの面でもマラソン大会などでは第一位を獲得しいろいろな面でのすさまじい活躍は目にあまるばかりです。

このように、三つの関係がバランスよくととのっており、まるでキリツとひきしまった筋肉のようですが、かの有名なナポレオンでさえも、すさまじい活躍をしたが失敗したこともあり、やはり失敗は、どんなことにもつきものです。B組もこのようなはめになり、非常に多くの失敗をやってしまいました。

ま、これだけ書くといけない一Bの特徴をつかんでいただいたと思います。我が一Bの編集班は、「われら一Bの一日の行動」という題で、一日の行動を、だいたいまとめてみました。

われら一Bの一日の行動

一時間目

まず、一人がうるさくし、それからだんだん周辺の人達がうるさくなっていく。そして、しまいはクラス全体がうるさくなって

くる。

二時間目

一時間目は何もなかったように終り、みんなはいいやながら例のボタンを始め、結果的には先生に注意される。けれど一時的には静かになるが、またもとどおりになる。

三時間目

みんなは、やがて落ち着き始める。授業の中ごろから発表の数が多くなり、一日の生活の発音がピークとなり充実する。

四時間目

三時間目のようにはいかず、落ち着きがなくなりさわぎ始める。さわぎ始めると、瞬間的に気持ちがいっきに爆発し教室中でさわいでしまう。

給食時間

みんなの待望の給食が始まる。そして自分の給食にケチをつけてみにくい争いがおこる。争いに負けたものはくやしきのあまり勝ったものの温食に塩を入れたりして、知らんぷりしている。まさにジュラ紀の弱肉強食の世界だ。

こうして一日が終り、それぞれ部活に行く。

一年C組

なるほど THE しいくみ(パロディ風)

我らC組は、成績優秀、スポーツ万能、美男美女の勢ぞろい……
……というのは真つ青なうそ。でも明るさだけはどのクラスにも負けないのである。

まあC組のいいところといえばですねエ……まず第一に男女の仲がよろしいという所じやないかな？（べつにイチヤイチヤという訳じやないんだよ！）それから一致団結し協力しあうことで、なっ、なんと賞状が二四イ……六枚も！すごいだろう。

けれど、いい所ばかりじやないのである。悪い所も二、三……とおつても悪い所はなんといつても、「けじめがなあい」と先生にどなられること。一日一回は、きついお叱りを受けるのだ。

C組の担任、山岸岩夫先生は、名前のとおり、あだ名は「ガンセキ」。トレードマークは広いおでこ高いかかとのくつをはいてることなのだ。くつのかかどが高いため、身長がどのくらいか今だに不明なのだ!!

授業中は熱心さのあまり、チョークが折れるほど力を入れるのは毎度のことだ。それに、しゃべっている時なんかは、よくつばをとばすので、とばされた前の席の人はなんともいえない顔をするのである。しゃべり終わると必ず「ネツ」と言う。一度ならまだしも、

その人がうなずくまで「ネツ」を言うんですよ!

「ガンセキ」先生には、良い所がたくさんある。

勉強の教え方や字が上手で、やさしくて、きれいだ好きで、そのうえ、きちよう面な先生なんだ。

笑顔が最高かわゆいんでエス。（オエーな・ん・て）C組がのびのび明るくいられるのは、「ガンセキ」先生のおかげなんですよ!

C組をのぞいたことがある人は、わかるでしょう? C組がのびのび一日を過ごしていることを……。

C組一同、「ガンセキ」先生に感謝してまあす!

（斉藤・寺崎・松下・増田 記）



1年C組の授業風景☆

一年D組

学級紹介

一年D組の担任の先生は、三河先生です。

三河先生は数学の先生で、一問一問ていねいに教えて下さるのでとてもわかりやすいです。先生はその他にも柔道やバレーボールも上手だし、字もきれいですが、たまに「これとこれはべっこにして／なんて、なまり(?)をつかうこともあり、とても楽しいです。

一年D組はこんな先生に見守られても平和に過ごして来ました。

みんな仲が良く、休み時間も一人ぼっちになる人もなく、それぞれが楽しく遊んでいます。おしゃべりやトランプ、追いかけっこなど、休み時間はいくらあっても足りないくらいです。

休み時間の元気の良さは授業中まで続き、先生をきりきり舞いさせています。

こんな私たちの元気を発揮できる運動会・水泳大会などで、そのがんばりを賞された賞状は五枚で、以外と少ない方ですが女子に足の早い人がいるので、走るほうはD組は案外強いようです。

また、五稜中学校全体に言えることですが、D組には不良っぽい人もいなくて、校内暴力もまず考えられないと思います。

みんなが自分のクラスが一番いいと思うのと同じで、私もこの一年D組が大好きです。

私から見た一年D組っていうのは、いたずらっ子みたいな明るさ、無邪気さと、がんばり強く、熱心に自分の力を百パーセント出しきって努力すること、友達などに対するあたたかい思いやりの心などを(ちよっとオーバーだけど)持っている人たち四十二人と、やさしい先生とでできた、他のクラスと特に変わりのないふつうの中学生のクラスの一つです。

そんな私たちのクラスにも問題が起こりました。

ある日：それは初雪のふる一週間くらい前でした。クラスが二つに別れてしまったのです。原因は昼休みにどちらかがボールを使うかを決める決め方のことです。今、考えると決め方ぐういなんでもないことだから、どちらかがゆずればそれですんだことなのに、おたがい意地のはり合いをして、どちらも後へはひこうとしました。こんなことで問題が広がっていき、結局、放課後遅くまでクラス全員が残り、話し合いに話し合いを重ねた末、問題は解決へ向かったのですが、雪がふってしまいました。雪がこの問題の上につもってかくしてしまったように、みんなはこのことを忘れていきました。きっと、春には雪といっしょに解けてなくなることでしょう。今では、みんな仲良くやっています。このように私たちのクラスは、問題があってもすぐ解決し、また一歩前進するクラスです。

(塩田亜矢子 記)

一年E組

苦手は個人戦

得意は団体戦!!

「オンギヤー／オンギヤー／ギヤー！」

すさまじい声。四月六日午後、五稜中一・E宅で男子二十一、女子二十の計四十一人の大兄姉が生まれた。父は板東忠康先生。国語科の教師である。それはそれはやさしい父である（大うそよ）。母は……多数である（?）。

ところで、この生まれたばかりの赤んぼうは、なんとすぐに歩きだした。言葉もしゃべった。生後三十分であつた。この時すでに、この子達が、なまじい能力でないことを表していたのだ。おそろしいことだ……ぶる、ぶる……。

その赤子達は生後一カ月足らずで走り、跳んで投げた。そして開かれた「体育大会」というものに参加。男赤子が二位を取った。女赤子は？ははは……聞かないでやって！

・そしていま一つ、つい最近「文化祭」というものが開かれ、合唱コンクールに出た。赤子達は、ほとんど、いや全々あきらめていたが………なつな、なつなと、堂々と一位を取ってしまったのである。赤子達は天につくほど喜んだ。赤子達を喜ばせたのは、それ



だけではなかった。なんと同時に展示された学級新聞なるもので、これまた三位を取ってしまったのだ！まあまだまだある。弁論大会なるものでは、男女の赤子が入賞！それとマラソンというもので、男赤子一位総合二位！赤子達の部屋は賞状でいっぱいになった。団結の力が示されたのである。

こうして一・E宅の赤子達は、すんばらしい成績君をおさめて、良いところばかりだが、実は一步部屋へ入ると、ころつと変ってしまう。前に「なみならぬ能力」と話したが、それが良い能力か悪い能力か………と話したが、それが良い能力か悪い能力か………あつあつ頭痛が………いや頭痛などでごまかさず、お話ししよう。この赤子達は、みんなで力を合わせると、つお……いのだが、赤子一人になると………ああ、考えただけでもおそろしい。そのう………まったくだめなのだ。その一つの例が、歌である。音楽一家の坂田氏は「コンクールの時とは大ちがい！」と、頭から炎をはいてしまった。その光景は、まるで太陽を見ているようだった。

まあ、このことから言うところの赤子達は、個人戦がちめい的にいわれているらしい。でも………なんとかならんかねえ………この………赤子達………。

（木田 記）

二年A組

POKER FACE 艶姿 KUNIKO の瞳は

ダイヤモンド釜山港2・A

"How do you do!"

僕たちは、2年A組で同じ屋根の下で同じかまの飯を食ったきつてもきれいな深い深い仲間なんだ!
どうだノ良かったか!

けど、2年A組は、さびしい"CLASS"なんだぜノだってエ
2階でひとりぼっちなんだもん。

さびしさは、若さでふきとばすのさ!

僕たちには、あしたがあるんだ!

あの燃えるようなあかい夕日に向かって走るんだ。

さあノ行こう。

じゃあーこの辺で大坂"Teacher" 僕たちのマドンナを、
introduceしよつ。

なんといつても大坂"Teacher"の一番の魅力は、あのス
リムなボディ、特に"腰"、あの腰あんばい。

僕たちは、そんな先生が大好きさ。

なあーみんなも好きだろう!!

それに、あのキュートな目、ぼくはしびれちゃう♡

Let's
ジャズダンス



授業態度といえは、ちよつとした"すかしっぺ"も響くような静けさと静寂さなんだ。どう?僕たちつてえらいでしょッ!
けれどもおとなしすぎて、あてられてもわかってるのか、わかっていないのか……。きつとわかってるのだろう。

それにA組には、協力性がある。だからこそ合唱コンクールで、優勝できなかったことがぐちゃしかつたんだ。

来年こそは優勝するつきやないノ絶対やるつきやない。

とにかく2年A組は、とーつてもあつたかくて、"nice"、
"CLASS"です。

2年A組最高ノがちよーん

(長沢・笠原・蔵・山崎・吉川 記)

二年B組

おしん根性二年B組っ!!

我々おしんクラスは男子十九名、女子十九名、計三十八名と、そして我々を愛のむちでしごく（わあーっ!! 恐ろしい）坂田法行先生が、まとめています。

では、どうして? おしんクラスなのか説明しましょう。（あなただけに）それは、このクラスの人は、みんな努力の人だからです。（うそだあーっ!!）でも、その努力は今のところ少ししか発揮されてません。例えば、賞状が、た、たった三枚しかないのです。（教室のすみで仲間がほしいと、いつも泣いています）それは、体育大会男子二位とマラソン大会男子二位と合唱コンクール二位です。（思わず紹介してしまいました）この合唱コンクールの練習の時は、すごい根性だったんですよ。（また、そんな日がいつか!）先生は我々を愛のむちでしごく、我々は必死に声（美声ではなく、うら声でした。あれは!）を出して! 今、思い返すとぞおーっとなります。

そろそろ、普段の我々の様子を教えましょう。ある一日の事から... さて、今日は月曜日です。（六時間授業なので、みんな遠ざけている恐怖の日です）一時間目: 学活。先生の、また長いお話。あくびしている人、下を向いて、手で遊んでいる人、先生の顔をみつめている人などそれぞれです。二時間目: 数学。けっこう、うるさくな

るので、先生は頭が痛くなって、職員室へもどって、いくのでは...?。三時間目: 英語。なぜか、いつものB組と、ちがっているようで恐いっ!。四時間目: 理科。これもまた、あまり、うるさくなりません。どうしてか? という事は、あなたが想像して下さい。給食時間。この時は一日中で一番、静かです。昼休み。教室は、我々の遊び場に早変わり。授業中おとなしい人の目、輝いています。五時間目: みんな遊び疲れたわりには、よくふざけます。六時間目: 社会。みんな疲れきって眠たそう。先生の声が、子守歌に聞えます。授業終わりのチャイムが鳴ると、みんな、いきいきときます。これで、我々の、つらい月曜日が終わるのです。

最後に坂田法行先生の紹介をしましょう。まず、いつも、きらきらと、まぶしく光る眼鏡をかけています。（眼鏡をとると、とってもかわいいんですよおー）そして、音楽の時間になると、あの大きな瞳をきらきらと光らせるのです。その時の先生は、とっても、すてきです。（あっ!! おせじです）楽しい時、愛のむちをふるう時も、あるけど、我々にとって、とても良い先生です。（うそっぽいかな）では、みなさん、この「おしんクラス」を、これからも、どうぞ、よろしくお願いします!。

（鈴木・大高・作山・井口・吉川・紺野 記）

二年C組

ブラックボックス2-C

我が2年C組は、雄(♂)19匹、雌(♀)18匹の生命体と阿部氏によって成立している。その内容は、とても明るい人・突然笑いだす陽気な人・暗黒のように暗い人・踊る、歌う、くだらないギャグを言う奇妙な人など種々様々……。それらが同じ三次元の空間の中で生活をおくっている。

ところで、ある日のこのクラスを見てみることにしよう――。

ガラッ…、ゴトゴト、バシャン…。(我がクラスの戸は、生きているかのごとく気性が激しい。スムーズに開いたり、途中でひっかかったり、外れたりする)…。と、阿部氏が入って来るや否や、パッ…とその辺にいた者達は、ワープするかのように席へもどっている。神技だ。(ストープがついてからは、はなはだしくなった)

授業中は、一般に騒音公害だ。おしやべりが絶えない。「うるさいノヤカましいダまれダまれ」のどなり声が聞こえないくらいだ。しかし、ある特定の時間(社会と英語)になると、水を打ったように静かになるのは不思議なくらいだ。よく学活の時間に阿部氏から、「おちつきがない。少しまじめにやらないさいよ」などとよく言われたものだった。

それでは、我が2年C組担任、理科担当の「阿部氏」について、

(失礼して)少し紹介しよう。

阿部雅朗氏五十歳。はつきり言って、いやみに、手足がつかたようなもの…と言うよりもいやみが手足のようなもの?なのか、どっちにしろそのいやみは、天下一品、もう一種の芸術といっているくらい…。しかし、やはりいい先生である。なにしろ、このできの悪いクラスを進歩させてくれたのだから。

さて、ここまで読んだのでは、あまりに2年C組が悪すぎるので良い所を述べよう。それは、この教室に來ればわかる。壁にさんざんと輝く(実は、夜になるとそこだけ異様に光るんですよ……)9校の賞状が、整ぜんとはられてある。これこそ、2年C組の汗と涙の結晶!?、努力の結果、そして団結!?の強さの象徴である。一人一人の力が、ずば抜けている、他のクラスにはまねの出来ないものである。

最近、こんなクラスにもおちつきがみられはじめ、少しずつ成長しつつある。今後は、きつと賞状以外にも自慢できることがふえることだろう。

2-Cよ、永遠なれッッ

(石川・菊池・金谷・三浦 記)

二年D組

LIVELY CLASS — 2D

我々、二年D組は、男子十六人、女子十八人の計三十四名の明るく、楽しく、さわがしいクラスです。

さて、このクラス、今、教室の中を見回すと六枚の賞状があります。その賞状の大部分は、女子のおかげでとれたものです。

勉強のことでは、ほとんどの先生が「D組はテストで平均点が高い。」と言っていました。

しかし、それは、一学期のことです。今は……

クラスの中の様子は、前にも書きましたが、とてもうるさく、先生方には、いつも大変めいわくをかけています。

ここで、おわびします。すいませんでした。

さて、ここで、ある一日をふり返ってみましょう。

朝、八時二十五分を過ぎると、ぞろぞろとクラスの人達が入ってきます。10人、15人ぐらいいいかなかった「シーン」とした教室の中が、突然「ガヤガヤ」と、うるさくなってきます。

一時間目、道徳。二時間目、社会科と、この二つの時間は、担任の安井先生なので、静かに授業を受けます。三時間目は、網塚先生の国語で少しざわついてきます。四時間目は、阿部先生の理科で静かになります。次の五時間目は、みんながこわがる、石名坂先生の

英語の時間です。その時、緊張した空気があたり一面にたどっていきます。六時間目は、数学です。最後の授業のせいか、少しうるさくなってしまいます。

そこで、この日一日の授業が終わります。

二年D組は、このように、うるさいクラスです。

最後に、ここで担任の先生の紹介をします。

本名・安井歳男。年令・X歳です。

先生は、社会を教えている先生です。授業をしている感じでは、まじめですが、文化祭では、全校生徒の前で、うまい歌というのか、へたくそな歌というのか、それとも、わざとにふざけて歌ったのかで二年D組の恥をさらしたという楽しく、陽気な先生です。このような先生が担任の、2年D組を、以後、よろしく♡

(鈴木(丸)・鈴木(圓)・岡本・崎野 記)



二年E組

二・Eの御先祖様STORY

むかしむかしそのむかし、あるところに計37名の部落があったんだと。そこには、天真爛漫な子供達がいたんだってさー。

が、しかし、B.U.T.、ある日、その平和な部落に、約々一名の紳士らしき人がやって来て、言ったんだと、

“なにやってんジャ”

っと。そりゃーもー子供達はその威厳ある一喝におののき、ただただその人についていってしまったんだとさ。

その紳士らしき人の名は、“石名坂 克暗”といったそうだが、名のある坊主と聞いて、またまたおののいてしまったんだとさ。

そして、その男のすることといったら、そりゃーたいへんだっただよー。無邪気な子供達には、どんなにつらかったことか……。

きびしいおきてを山ほど作って、したがわさせたんだって、そりゃ、初めは反抗する者もいたが、いつの間にか、いうこともきくようになっていただよ。そりゃ、子供達の努力の成果でもあった。

子供達は、青空寺小屋にもかよわされたそう。和算も覚えてしまい、“1+1=2”らしいということがわかるようになったそう。

子供達たちは、だれもが満足していたそう。ところが、あの男は、それだけでは満足しなかったようで、今度は、異国人が使つと

るといふあの異国人語を教えたのだそう。子供達はがんばった。ある時は非国民とバカにされもした。そんな時、子供達は、田んぼのあぜ道や橋の下で、あの男からおそわった“I LOVE ENGLISH”を、わけのわからぬまま口ずさんだということだ。

半年後、子供達はみごと“あいらいんぐりっしゅ”と言えるようになったのであった。その時、子供達はあの男の目に「キラッ」と輝く何かを見たとき。

それから半年後、子供達はなんと“I LOVE ENGLISH”の意味までわかるようになった。

それから半年後から3ヶ月後、その部落から姿を消していたそう。子供達は、陽気（妖気）さを取りもどし、道では大声で叫んでいる者もいたそう。 “I DON'T LOVE ……” っと

そして今、私達は、御先祖様の努力と苦しみ、そして知力を受けついでいるのです。ついでに、二・Eとは、石名坂 克暗の子孫、石名坂 克明”を筆頭とした、男女の仲がよいクラスです。

（企画委員一同）

三年A組

担任 石井 寿八



穏やかな学級。これが強い印象である。しかし、何故もつと自らの判断で歩もうとしないのか。歩ませれなかったかと悔いている。一昨年渡米し、最も強く感じたことは、持てる国と何もない国、ということである。郊外に出るとただ投げ出されている大原野、きめのあらぬ農業。学校教育をみても、日本のそれとは比較にならない金と時間がかけられているすばらしさ。国土もせまく食糧すら輸入にたよっている我国にとっては高嶺の花である。しかし、私たち日本人には世界一の能力、頭脳がある。これは互いに切磋琢磨し合ってこそ向上していくものである。その土台が自主性、創造性であり、向上心であろう。思いやりを持ち、自らの判断で歩む。時には障害に立ち向う激しい闘争心も必要である。そういう強い人間を目ざしてほしいものである。君らは今が人生のスタートなのだ。

「なんかしらないけど、普通ここらへんに題名書くんでしょ？」
えーと、初めてのころの我3-Aの印象は、先生方の証言によると
“おとなしい”の一言に尽きたそうです。とにかく、授業だぞくの
一言ですでに半分以上の人々が息をひきとってしまうんですね、お
きのどくなことに仮死状態の人もいますけど…。先生方も注意する
のがひと苦労でした。“そこおつ／あくびばかりしてんじやない
／窓ぎわつ／光合成をするなっ……目を閉じるな、死ぬぞ／ここ
まで一緒にきたんだ。おまえ一人おいていけるか／さあ、登るんだ。
眠るな、眠るんじゃない／”
先生の声はふぶきに消された。(八甲田にそまつて……)。
さすがにみんなもこれではいけない／と思つた(んだかどうか
…)二学期の後半くらいになったら、突然うるさくなり出しました。

今まで猫になつてたんだな／このやろう／(“猫かぶつた”の意
味)特に理科の時間になんて、あることないこと、いいたいはい
い、みんなの前ですべてぶちまけられるのです。聞いている人はい
いんだけど、いつ自分の番が回ってくるかと、ビクビクし通しの人
も…。ビクビクといえば英語の時間のみんなの緊張のしかたはすこ
い。あてられたとたん、心臓まひで……というひとはいませんが…。
また、我3-Aの男子と女子は、仲の良いグループどうし対立し
あつていたグループがありました。でも、何かと行事があると一致
団結…。それでもある一部の人たちが、何もせずに遊んでいるとい
う状態が、今まで何回あったことか／(ぶつ、このような人は、
十人に四人とされている)そんな私たちを、我クラスの担任である
石井寿八先生は(時には厳しく愛のムチがとんでくるが)遠くから
見つめていてくれるよい先生なのです。(もうそろそろ卒業なので
先生のことをよくかかなければ、こんどはこつちの顔がなくなるか
な／ジョーダン)。(飯坂・高橋・斉藤 記)

- ◆ Let's take the first prize.
- ◆ YOU CAN NEVER COME TO THIS PLACE
- ◆ 人生とは「1つ6芸術である」
- ◆ the clock tells the time /
- ◆ I Wanna be your lover / Never give up /
- ◆ We are the LOUDNESS guy /
- ◆ Good Luck Love /
- ◆ WE'RE ON THE POINT OF FLYING AWAY //
- ◆ DON'T FORGET TO SAY "GOOD. BYE"
- ◆ POWER ROCK GENERATION /
- ◆ GOOD-BYE・青春
- ◆ OK.....
- ◆ 空のような広い心を持つ。
- ◆ さようなら五稜中学校
- ◆ さようなら青春。

阿部 公彦
阿部 諭
安倍 哲郎
江刺家孝司
川村 尊弘
黒川 昌史
黒田健太郎
小松 大麗
斉藤 弘明
高木 孝
高栗 健一
高橋 悟
武田 公人
竹原 武彦

- ◆ 星進一の未来いそっぷおもしろいから読んでみたらどうでしょうおすすめします
- ◆ THERE IS ALWAYS TOMORROW
- ◆ 人生は「一発逆転だ」
- ◆ 石井先生は永遠に不滅です。
- ◆ 私は「いつでもあなたの心の中にいる」です。
- ◆ 人生は「前進して」を意味がある。最後をかざる男「彦六」.....
- ◆ I WANT TO BE HAPPY THAT'S ALL I WANT
- ◆ 私でも卒業できるんです★
- ◆ DON'T GO AWAY TIME
- ◆ I DON'T SAY GOOD-BY
- ◆ みんな さようなら。私は星になります。
- ◆ SEE YOU AGAIN MY FRIEND /
- ◆ 青春のページに別れを告げて私は今ははたく。 Good Luck ...
- ◆ 未来はす・て・きな
- ★ fantastic story.
- ◆ DEAR MY FRIENDS "GOOD LUCK /"

福田 直己
福田 久博
三浦 正二
三浦 吉則
水戸 稔
横山 英彦
四辻 知大
赤石 美貴
秋山 生
飯坂万貴子
伊藤 由佳
稲葉 朱実
加島 弥生
日下 優美

◆ SOMEDAY SOMETIME

◆ GOOD-BYE

◆ LOVELY FRIENDS /

◆ I won't forget

everyone ★

◆ もう卒業。楽しい思い出ありがとう。

Good-bye, my school /

◆ 3の3年間、朝、歩いてきて見たか

った。せや、I say good by /

◆ みなさん、おやすな。

よい思い出を...

◆ I hope you will be

for your good

◆ バスケットボールこそ

私の青春です。

◆ TENNIS ...もったいなかったなァ...

今までの思い出を大切にしよう♡

◆ I'll hope dream

of you ♡

◆ I am a very

good by.

◆ We begin walking now.

辻 佳名子

豊川 かすみ

中町 ゆかり

西村 良子

信田 尚子

野村 美保子

盛合 有美子

山形 幸美

山本 亜紀子

横川 知美

渡辺 みき

遠藤 晶子

◆ 三年教科担任のことば ◆

囲碁のこと



長岡 正昭

私が暮を覚えたのは高校の頃です。時折遊びに行った友人宅の親父さんが暮好きで、我々仲間に教えてくれたのがはじまりで、それ以来やみつきになり、学校でもノートに碁盤を作って自習時間にこっそりやってるのを見つけられて、大目玉をくつたりしながら、次第に上達しました。以後三十数年、大した進歩もなく、やつと初段か？二段か？というところまで来ました。が、いつまでせつてもあきのこない、底の深いゲームです。さて、どこが良いかというと、多くの友達ができること、そしてそれぞれの人柄がよくわかる場所がおもしろいのです。盤に向かうと、考えている事とやらはらなことを言って、互いに相手を幻惑しようとする戦いを闘かわすのも楽しいし、見物しながら茶化し合うのもまたおもしろいし、何と云っても、変化が多様なので、頭脳の訓練になるし、人間的に丸みが出て来ます。そしてお金のかからない遊びであることも魅力です。どうです。この有益な、一生楽しむことのできるすばらしいゲームを、君達も覚えてみませんか。

三年B組

担任 小林 康秀



卒業おめでとう

五稜タイムの時、桜の花片が散る中を歩いた記憶が、昨日のように鮮明に蘇えりますが、早、貴方がたは、それぞれの進路に向って旅立ちます。過去を振り返ると、実に懐かしい。考えてみると、貴方がたの未来は、過去と同じ様に現在の上に存在します。現在と繋がっているんですね。だから、今を精一杯生きて下さい。自分の夢実現に向かって突き進んで下さい。途中の道程には、困難な事や、遊びたい、その他、諸々の誘惑に悩み苦しむ事があるかもしれない。そんな時は、己自身の夢をもう一度、自分の心の眼で見つめ確かめて下さい。江戸の儒者、佐藤一斎の言葉に「克己之工夫在一呼吸間」があります。誘惑に負けそうな己自身に勝つかどうかは、一呼吸する間に決まるという趣旨ですが、今、卒業という新たなスタートを切った3B諸君にこの言葉を贈ります。前途の栄光を祈る。

「3B今昔物語集」

今は昔、さくらの花がさきみだれ、梅のかおりがほんのりとにおう昭和五十七年のある春の日、私たちは、三階の一室二年C組に集まり、担任の熱血先生と感動の対面をむかえたのである。そういえば、あのころは、ピンと張りつめた、空気が漂い先生も冗談ひとついかなかった。四〇四あれから二年、「卒業」という名目でこの学校から追放される時がやってきたのである。

「まあともかくこの三Bの軌跡をたどってみることにいたそう。このクラスの学級目標「明るく楽しい学校生活を送ろう」をスローガンにまっしぐらに進んで来た39名の戦士達は見事に、その目標を克服したのである。

そして、体育大会、水泳大会、マラソン大会と数多くのオリンピックがであった中で、金・銀・銅（一位、二位、三位）と、すばらし

い記録をうちたてたのである？とところ狭しとかがってある三枚のメダルの中で太陽よりも明るくひかりかがやく金メダルは、忘れもしない第二十三回文化祭二日目の十月七日のことである。あまりにも運動神経がよい？のでこの合唱コンクールぐらいいはという意気込みと、三年連続優勝をという担任の熱血先生の熱い期待とがミックスしあい、すばらしい団結パワーを生み出し、指揮者のN君を中心にみんなで苦勞しあつて勝ちとつた栄光なのである。この団結力は他のクラスにも誇れる。三Bのシンボルである。

ところがこのクラスはちよつと変わつていて、授業終了のベルがなり、休み時間になると、男子はほとんど教室にいなくなり、また女子の方もストープの辺りにゴソツとあつまり、もう一步も動かないのである。そして授業開始のチャイムがなると、男子はどこからともなく教室にもどつて来て、まじめに教科書に目を通しているものもいれば、先生が来るのを教室の入り口の所からうかがっている者もいるし、女子の方は、というと、しぶしぶストープからはなれ

て自分の席につくのである。

とまあ、このようなクラスですが残された、数日間をおもいつきはねをのぼしこころえたいと思います。

最後に、この三年B組は永遠に不滅です。

(鎌田・野本・藤田・中田・近藤・島多・北野・前田 記)

◆ 俺は

リッチマンだ!!

◆ 超人・ハルク

◆ 「罪を犯す者は、みな罪の奴隷です。」

◆ 薬師丸ひろ子は、永久に不滅だア。

◆ COSE が好きだ近藤毅之。これを

書くのに何時間かかったことか!

◆ 燃える関魂

◆ ☆GOOD Bye☆

義務教育!!

◆ Time is money

◆ 俺は

egg だ!

◆ 亜無亜危異

ROCK N' Roller

◆ さよなら友よ、さよなら友よ忘れま

いの日を、いつまでも。

◆ 俺は、COSE だ!! 中者 善元。

江刺家勇司

鎌田 正志

菊地 敏之

北野 健治

近藤 毅之

斉藤 博文

斉藤 光広

島多 浩司

高野伸一郎

対馬 司

中田 宏

中者 善元

◆ 「神は、すべての人に命と息とあらゆる恵みとを、おあたえになった。」

◆ ほくはさよならは言わないよ。

◆ なんてキザな言葉は言わないよ!

◆ 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。

◆ 石の上にも三年。戦うモンゴリアン

キラークーンとえーす。

◆ See you again

◆ 一年365日 always

◆ 絶対頂!

◆ へん、どうせほくはやっぱり

going my way.

◆ 五稜中なんか大きらいだ。

(耐えることがいやになっちゃた)

◆ Our trip would never end

◆ 人として生まれきて…ね、わっか

◆ Don't be afraid of

your mistake !

◆ 苦しみ走った想い出のひとつひとつ

が、目の前でにじみつも、こぼれつきり…

◆ 「尿を開けっ」

◆ 新井菜子

◆ 熱い時代を駆け抜けるわ BEST

◆ of my LOVE 高見沢我命

仲山 康紀

野本 健

畑野浩一朗

藤井 光

藤田 研二

前田 昭典

牧野 恵司

松下 貞義

阿部 恵子

石亀 寛子

太田 晶子

小田桐ひとみ

柏 静香

木村 直美

◆ "Going my way."

◆ 夢で会いましょう。またいつか会える日まで。 "Good bye."

◆ 人としてかなしんで……ね、さゆり

◆ 「卒業」やったぜ／うれしい♡

◆ H₂O. THE GOOD-BYE 我命

◆ シャンペングラスを一人でかかげて乾杯さ。悲しむヒロコ………郁弥命♡

◆ ONE NIGHT FOR ROCK

Show 夢々 急ナシ

◆ We can't change our

past. JON LOVE♡

◆ I'm free just now……

◆ 人として愛し合……ね、みっち

◆ それぞれの道へ……ね、かんこ

◆ もう卒業、別れたくない、学校とも

◆ みんなとも……同窓会ゼったいやろ／ね、

◆ 誰かと恋に落ちて、浮かれた夢を見る…… それだけ…… 浩之命

◆ 転校して来て、まだみんなの名前も覚えてなく卒業するのは残念だけど卒業したい

佐々木浩美

佐藤 萌子

志田和佳子

館田 弘美

中野 郁子

中平恵理子

長山 早苗

浪岡 聖子

野元さゆり

増田美千代

山崎 智子

渡辺 知美

中浜まゆみ

◆ 三年教科担任のことば ◆

一秒間の重み

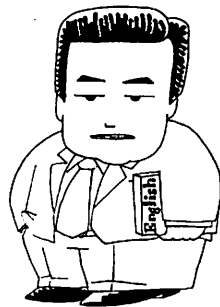


石津 兼一

四点勝っているチームの主任コーチ（監督）が、後半残り一秒しかないのに、興奮し、口角あわを飛ばして選手を叱っている。それは、誰が見ても狂気に満ちており、滑稽でさへあった。これは、先日の日曜日に行われた全米大学体協バスケットボール公式戦のサントリーボール最終日のデイボール大とテキサス工科大の試合でのこと。デイボール大はこの試合に勝って優勝を決めたいところ。主任コーチはマイヤーという七十才のベテランコーチで、今迄に何度も優勝の経験もあるが、今年限りで引退するそうです。一見、誰が見ても勝つことが確定的なのに、何故あんなに怒っているのか不思議にみえるが、それには怒る確固たる根拠があるからである。相手は勝てないまでも、一秒間に同点にできる可能性があると、その可能性が千分の一、万分の一であつても、それに秘策をもち、全勢力を注ぐもの。そんな「まさか」を何度も見、体験し、その恐ろしさを十分知り尽しているからこそ、選手をどうの如く叱ったのである。お互い、四十分のうちのたった一秒に、この一年間のすべてを、いや今迄の経験のすべてを託す勝つことへの執念を見た思いがし、時間の価値・生きていることの厳しさを思い知らされた。

三年C組

担任 竹村 英夫



花を愛する人は、花がせいそに、ひたむきに精一杯咲いている。そんなところに愛を感じるのではないだろうか。自分の力を出しきって生きている人間は美しいものだ。君達も、これからは、自分の眼と心で、物事をしっかりとらえ、そこから自分の考えをまとめ、その考えに基づいて、精一杯行動することは、人生をよりよく切り拓いていく上で、とても大切なことだと思います。

また、アリストテレスの言葉に「友人は第二の自己である。」というのがあります。愛情と信頼の心を持ち、よき友を得ることも捨てがたいものです。

まもなく君達も、なつかしき学び舎を後にすることになります。未来は果てなく洋々としています。私は、離しがたき若鳥の行方を愛情の岸辺に立ち、見送りたいと思います。身体に気をつけ、元気でがんばりなさい。

ところが、昼休みには二重人格が再発し、男子はばアノとどつかに散ってしまい、女子はストープにへばりつく。昼休みのC組はまるで、女子養老院である。(ちなみに教室には賞状が8枚……)

竹村先生話題のいやみにもどっぷりつかり、「たこだ、いかだ」と可愛がられ「七転八起」の2年間でした。そのため、先生色に染まったのではないかと胸さわぎのするこの頃です。それに、是非お勧めしたいのは竹村先生の形態模写集です。先着50名様なのでお早めに。(なかなかうまいものです。C組で大好評ですから)

3年C組は、確かにアンモニア臭に包まれています。でも、今度C組になる諸君めげてはいけません。なればなかなかいいものです。最後に、竹村先生ならびに諸先生方、私達を今まで親切にご指導下さってどうもありがとうございました。いろいろと変わった性格が混合していたので、さぞやお手数がかかったと思います。そのお礼として、四月から私達はそれぞれの道で精一杯がんばります。

みなさんは、昨年、あの旧2年A組にまつわる感動の名作?「家畜という……」を覚えていたでしょうか。あの物語は、みことなエンペラーで、一見完結したかの様ですが、実は違うのです。私は知っている。「続編、家畜……」と書こうと思っただけで、この3年の忙しい最中にそんな事やってられません。そこで、真面目に3Cを紹介したいと思います。

3年C組、担任はかの有名な竹村先生で、男子21名、女子19名で構成されている。各授業中は、常に先生の言葉に上手に適応し、どんなジョークにも感嘆する所などC組の心やさしさがにじみでるようです。更に、竹村先生の英語の時間は、こわばる笑いと共に顔色に変化するのです。(別にジョークではない)なぜなら、まちがったら最後……(その後については保証できかねます。)

(亀田由華 記)

◆ さらば、五稜よ

永遠に……………。

◆ 過去をふりむかず、

未来へ前進したい。

◆ 一生一度の中学校生活よ！

アバヨ！！

◆ バイなら！！

◆ 人々はみな

私のことを、〇〇〇〇とよぶ。

◆ ぼくは、この三年間卓球という根暗

スポーツをうっぱにやりとげてしまった。

◆ YES or NO？

キレ顔は、装飾？

◆ もともと地上には道はない。

歩く人が多くなればそれが道になるのだ。

◆ 自分の道は、

自分できり開く。

◆ みんな、さようなら

元気でな！！

◆ 一言、文を読むことは易いが、

書くのは、難儀であった。

◆ お父さん、お母さんを

大切にしよう！

◆ Good By

"Blue Spring" 丸

荒木 一仁

荒木 貢

新谷 敏明

安代 秀幸

池田 和之

宇田久仁博

大越 英明

大室 哲也

尾山 慎一

金谷 幸治

葛西 輝彦

笠巻 亮

鎌田 勝

◆ 充実した、学校生活を

実現しよう。

◆ 二度と来ない中学時代を、最後まで

努力し、立派に終えた。

◆ おじいちゃん、おばあちゃんを

大切に。

◆ もしも60年後生きていたらゲートボ

ール場で会いましょう。時間は午後7時

◆ 野球は、僕の命！だから五稜野球部

のスーパースターでいたかった！！

◆ 転校生諸君、ぐれてはいけない。

転校のベテランより。

◆ カメラバカ！

◆ 俺のいない野球部なんて

もう終りだ。

◆ 172cm以上、筋肉質で、私好みの

顔のクールな彼氏、絶対見つけます。

◆ 今はこうして泣くしかないけど、涙

は私に似合わない！かな。くっさア！い

◆ 五稜中のみなさん、さようなら。

いつまでも元気でね！

◆ 中学校 卒業です！！

うれしいような、悲しいような。

◆ 普通が普通で1番いいと思う普通な

おこです。普通にさようなら。

北口 孝

今野 実

酒井 克祥

杉村 昭

高橋 浩司

高村 淳一

番場 永吾

宮地 敏信

飯田ひろ子

石黒 香織

井田 陽子

今井 早織

小倉千鶴子

◆ 忘れないでほしいなッ・・・私を。

By MAM!

◆ 五稜中よ、スターダスト☆

◆ メモリーを ありがとう……。

◆ Where there is life

there is hope ♡

◆ みんなのこれからの幸せを、いのっ
ています。元気でねッ! BEYーBEY

◆ 『薔薇色の人生』とやらを求めてみ
ようかしら!!? みんな さいなら

◆ 3年間楽しかった

◆ みなさま、ぶあいぶあい

◆ ぎあっ! めれたいね!!

◆ すこい子になってやるっ!!

◆ みんな大好きっ

◆ At last there came

a parting day ♡

◆ さよなら…なぜさようならひとつ重
なる言葉…心の1ページに忘れないで♡

◆ 水にぬれても波にさらわれても思い
出は残るもの See you again…

◆ 時に卒業は心を不安にゆらす…

◆ えー忘れない! あなたを♡

◆ 私のことを忘れないと、きつと幸わ
せなことがおこるでしょう!ばいばい。

小黒真美世

尾辻 優子

小野麻由美

加藤かおり

亀田 由華

倉岡ひとみ

杉本 貴子

成田明明美

西沢美由紀

林 ゆかり

原田 千香

藤波 智子

星野 朋恵

米倉 智恵

◆三年教科担任のことば◆

自分を見つめて



橋 詰 尤 子

が、よく言われることばで、ちっとも新しいことではありません

「自分の目で、ものを見て、

自分の頭で、判断し、

自分の意志で、行動する。」

というのがあります。私自身も、いつもそうでありたいとい

う感を強く持っています。

ごくあたりまえのようなことであるけれども、そのあたりま

えのことがなか／＼むずかしいことでもあると思っています。

日常生活の中で、自分で実際に見てもいないのに、聞いただけ

で、鵜呑みにし偏見をもったり、人の意見に左右されて主体制

を失ったりしてしまうことが多いのではないかと、

これからの時代を背負って生きる若い皆さんは、しっかりと「

自分を見つめ」自分の責任において力強く人生を切り開いて行

って欲しいと願っています。

三年D組

担任 平向 貞重



昼までに登るはずの山へ三時になっても着けず、霧の中で完全に迷ってしまった。九時間歩き続けて疲れていた。部長は樹に登って幾度も道を探した。戻る時間が迫った時、一瞬霧が切れて山頂がチラリと見えた。皆喚声をあげた。道のない北斜面を強引に直登することになった。それは苦しい登行であった。登り切ると美事な雲海が広がって初めて見る光景であった。行く手にまだ二つの峰が残っていた。最後の頂に着いたのは日没寸前で疲れ果ててお向けに倒れてしまった。綱雲が棚引いていた。休む間もなくリーダーは走って下山するという。残りの力を出して闇をかけおり、最終列車に間に合った。列車に揺られていると、今日の苦行が言いようのない新鮮で強烈な感動に変わった。これが山岳部なんだと。遙かな高校一年の山行であった。

綱渡り

「三・D」、いろいろなことがあったが、どのクラスにも負けな
い良さもあった。確かにハプニングが多かったのは、事実である。
二、三人の暴走した生徒によって、先生方やクラスの全員にイヤな
思いをさせられたこともあった。しかし、本当にこのクラスは個性
的な人材を抱え、喜怒哀楽をリズムのように繰り返す日々を過ごし
生活してきたのである。

クラスの思い出の一つに、長く休んでいた仲間がもどってきたこ
とがある。これは三・Dにとっても、本人にとっても、思い出とし
て残るだろうし、それだけの自由さと明るさが学級にあった。

うるさい面もあったが、みんな生き生きしていて死んだクラスで
はなかった。その証拠に、クラス対抗となると持てる力を全部出し
切ったのではなかっただろうか。たくさんの賞をほとんど総なめに

し、10枚の賞状(一位だけで8枚)を手にして、みんなの瞳がまぶ
しかった。そして同時にすばらしいチームワークを感じたものだ。

中学三年の一年間、私達は綱渡りをしようなのだ。中学二年
までの生活と、高校、あるいは社会とをつなぐ一本の細い綱。後も
どりはできずにただ進むだけ。一歩踏みまちがえれば下へ下へと落
ちてしまう細い綱。中学三年の細い綱を、今全員なんとか渡り切れ
た。これからの新しい生活に向かって、更に綱を伸ばしていこう。
そして、この綱は年ごとに太くなっていくことだろう。縦に伸びた
綱と、横に張った絆、両方をたずさえて母校を去ろう。

最後に、クラスを導いてくれた平向先生や他の先生方、本当にど
うもありがとうございます。三段跳びでいえば、まだホップの段
階である私達を、どうかしっかり見守っていて下さい。

私達はこれからも、エネルギーを若さで

LET'S TRY!

(松谷 記)

- ◆ ぼくの思い出をのせた列車が
今、旅立とうとしている。
- ◆ やっと義務教育が終わった。
バンザイ！
- ◆ 今、小さな坂を下ってきた。
- ◆ でも、これから大きな坂を登っていく。
わたくしは、永遠に不滅です！
- ◆ さいなら！ また、どこかで……。
- ◆ 長い坂を上りきれば
僕の好きな海が見える。
- ◆ 俺の道は、俺がきめる。
これが俺の卒業だ。
- ◆ 実に楽しい学校生活だった。
またいつか会おう。
- ◆ Good by My school /
Good by memories /
- ◆ 俺の思い出は人には言えない。なぜなら俺の三年間の思い出は非常に重いぞー
- ◆ さようなら中学校の思い出。これからは新たな道があり、新たな思い出が生まれる
- ◆ 古い思い出をホームに置き去り、
新たな旅に向かって列車は行く……。
- ◆ この学校ともおさらばしなければならぬ。実にくやしい。

安藤 克巳	石川 静香	永岡 幸久	大田 高志	奥山 進司	小林 基良	笹木 旭	志方 裕一	七戸 一洋	鈴木 勝弘	外崎 英範	高橋 克哉
-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

- ◆ これからは、人に心配や迷惑をかけないようにするつもりだ。
- ◆ この学校を出て、自由になりたい。
(釣に行きたい)
- ◆ 青春まつ盛り。ASHINONOI /
行って見たい、甲子園 久美子・命
- ◆ これからは自由だ！
イッツシッシ……。
- ◆ ついに別れがやって来た。
またいつか会いましょう。
- ◆ カシヤカシヤ ロサンゼルス
オリンピック 協賛商品
- ◆ EYES OF THE MIND /
EYE BANK 登録……
- ◆ Looking Up…… /
アーメン ベビースターもよろしく
最後はおとなしく……静香に……
きめたいと思います。
- ◆ 若者だけ見える時の流れを青春と一緒に旅した事、私は永遠に忘れない。KG
さよならは別れの言葉じゃなくて
再びあうままでの遠い約束……
- ◆ 昨日は昨日、明日は明日、卒業しても
珠生は珠生、それなりにがんばりますっ♡

高柳 浩	仲川 昇	畑野 克治	松井 哲也	松谷 裕二	三上 敏宏	棟方 順一	吉田 寛	麻生 順子	遠藤 彩見	尾形登志子	尾山 珠生
------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------

◆ 今日の日をいつまでも想い出に残して、みんなとさよならしましょう。

◆ さよなら言わずに笑ってみるわ

言葉はいらない笑顔をみせて

◆ 苦しいこともあったけど、やっぱり

それも懐かしい思い出 Bye-Bye

◆ 三年間の思い出 たくさんもって

卒業できました——。

◆ 再びみんなに会える日を夢みて……

今はとりあえず Good-By

◆ 別れはいつも背中合わせ

またいつか会う日まで……さよなら

◆ みかちゃん このアトムマークが見

えないのかい。またもや私は変身するぜ

◆ 過ぎさった思い出はいつまでも美しくー

瞬間ごとの感動を忘れたくないからーねっ順子

◆ 卒業したくないけどしちやいます。

これからもタマ・ゴンはがんばりますヨ♡

◆ また会いましょう。

今日の日を思い出として。

◆ 青春の想い出は微笑に変えて返しま

す。出発に涙にはあわないから……。

◆ 別れて泣くのは好きじゃないけど、

今は CAN'T I CRY A BIT

葛西 友里

川村 孝子

久保 聡美

久米田久世

斉藤 清美

佐々木江美

佐藤 美香

汐谷 静香

首藤 圭子

高橋 咲織

村馬 雪子

富田 愉巳

◆ リコーケーコンクールでの『最優秀賞』
受賞の時の喜びは一生忘れません。

◆ GOOD BY ……

MY SCHOOL STORY

◆ 私は泣かない。だって貴方の貴方の
思い出だけは消えたりしない……。

山口ひとみ

前田 淑恵

❖ 三年教科担任のことば ❖

卒業おめでとう



佐々木 一 夫

長い人生のうちで全力を尽くしてやらなければならぬ時が何回かある。と、いわれています。その時に自己の力を最大限に発揮できるかどうかでその人の価値が決定します。そのためには、普段の努力によって力を蓄積しておかなければならない。努力は運命の絆をとく……。

最後に、「その道になくはならない人になってほしい。」お元気で。

三年E組

担任 渡辺 満



三年E組の担任になつてはじめて諸君に話した時のことが思い出される。「一年間はみじかいものである。この中に修学旅行をはじめ多くの行事があるが、諸君らの協力がぜひとも必要である。がんばってほしい。」といった内容であつたと思う。はじめは君達をよく知らなかつたこともあつて、いささか不安もあつたが、君達と生活を送るにつれて、一日一日と安心感が増えていった。君達は担任である私によく協力してくれた。卒業にあたり心から感謝したい。

さて、いよいよ出発だ。自分で自分の道をきり開くときが来たのだ。いつも言つてきたことではあるが、問題は二十年、三十年後に再会したときに、みなが祝福しあえるか否かである。互いの道をしっかりと歩んでほしい。

3年E組。わたまん先生こと渡辺満先生率いるわがクラスは、保育園が動物園みたいなクラスである。似顔絵をかくのがうまい人。あだ名をつけるのがうまい人。ものまねがうまい人。いたずらのプロ等がたくさんいる。特にあだ名は、ついていない人がほとんどではないといつていいくらいである。動物の名前や植物類など、いろいろであり、なかには一人で、5個も6個もついている人さえる。先生にまでも、わたまんとか、まんちゃんとかついているが、これはきつとお互いに親しみ合っているのだと思う。E組の男子は、ハイエナのようにあると思う。ちよつとでも弱い面があれば、一人の人間をみんなで愚弄し、遂には「ケンカ」にまで発展を遂げる。こんなところをみるとやはり、保育園児の集りであると思う。女子はブリッコである。奇声をあげ、わざとかわいくふるまったりして、自分の存在を認めさせようとしている。学習面を紹介すると、

チャイム席は、あまり守られていない。むろん休み時間も必死に勉強しようとする雰囲気もないし、している人も皆無。授業中でさえも、おしゃべりをし、突然「○○君、○○さんが好きだつて、えーほんとう」とわけもわからないことを言う人が出る始末。これが、ほんとうに受験生かと思うことの毎日である。生活面や学習面からわかるように、ほんとうにゆかいといううか、くだらないといううか、おさない子供たちである。このため、まとまりがないクラスだと指摘されたこともあつたが、やるべきときは、がんばつたと思う。3-Eは、2-1Bの時と同様、合唱コンクールの優勝候補であると言われながら、結局、優勝はできなかった。しかし、あの時はみんながんばつたと思う。2-1Bから3-Eへと2年間、同じメンバーでやってきたが、あともうわずかで別れの時が来る。卒業という新しい旅立ち。しかし、さよならは、別れの言葉ではなく、再び会うまでの遠い約束である。卒業生諸君、在校生諸君、未来に夢を託し、がんばつていこう。われらの五稜中学校の発展を心から祈るものである。

(後藤健司 記)

- ◆ 思うに希望とは、もともとあるものとも言えぬし、ないものとも言えない。
- ◆ 芸術は爆発だ！ 僕の頭も爆発だ！
by 黒うさぎ
- ◆ 三年間あつという間にすぎてしまったこの想い出を胸にこれからがんばります。
- ◆ 僕たちの三年間は、終わった。もう二度と今日という日は、もどつてこない。
- ◆ 俺たちの後は、君たちの時代だ。すぐそこに、君たちの時代がある。
- ◆ ババンババンババンバン 宿題やれババンババンババンバン 勉強しろ
- ◆ 時の流れに逆らつて昔の自分にもどりたい思いがこみあげる今日このごろ。
- ◆ 気がつくともう卒業という新たな旅立ちの時だった。希望を胸に走り続けます。
- ◆ 今の悲しみが、いつか喜びにかわることを信じ、わかれをつけよう。
- ◆ こみあげるさびしさにとかけたのは、足早に過ぎた時の流れ。
- ◆ 努力しないと一步一步と進めない。みなさんは、がんばるしかない。
- ◆ 過ぎた日は、もうもどつてこない。

GOOD BY 俺の人生

野沢 学	楢山 秀之	滝本 恒	坂本 友春	後藤 健司	越田 和成	尾山 拓実	奥山 正樹	井上 雄一	伊勢 浩治	安藤 孝行	安積 晴美
------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

- ◆ 俺の人生ノ……人生かくれんば人生は、one・two・パンチ
- ◆ 目に浮かぶのは、過ぎし日の想い出心に宿るのは、明日への希望。
- ◆ 大空高く私の夢が
翼を広げてまいあがる
- ◆ 3-Eのトシちゃん村井くん授業中にあまり光らないで下さい。
- ◆ この3年間なにをしていたのかみなさん、一步一步と進むのです。
- ◆ 僕は花だ！
いや、僕は蛙だ！
- ◆ 全ての友達を思いやる心を持ってこらん。自分にとって最大の武器になるから
- ◆ 今のぞむものは、ゆめだけ。さめた世界は、まっぴらごめん。by ヘビ
- ◆ もし、御縁がありましたら、いつの日かおめにかかりましょう。
- ◆ みんな Good-bye 楽しいことを胸にいつばいつめで卒業します
- ◆ 三年間の想い出、ありがとう……
- ◆ みんな、元気で Bye Bye Bye
- ◆ もう一度、あのころにもどりたい……

The Good-bye

野呂 誠一	三浦 靖幸	村井 利美	最上 勉	山崎 等	山本 大	吉田 琢哉	中川 浩司	芦田 千枝	石沢 ゆかり	上野 郁子	内田 真由美
-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	--------	-------	--------

◆ あつという間にすぎた3年間。実感
わかないけどバイバイ♡

◆ 男は、だまってサッポロビール。

◆ 女は、だまって卒業式。

◆ 男はだまってキリンオレンジ、女は
だまってファイブアライブ：サヨウナラ

◆ 私の辞書には、別れの言葉なんてな
いの、なぜ卒業は、あるのかしら？

◆ みんな！食べて太ってね！

私は、一生懸命、やせるんだとい。

◆ みんなプタになんないように

＋アーメンーSee you againー

◆ 三年間は、長いようで短い。皆、後
悔しないような、三年間をおくろうね。

◆ わあーい卒業だ！卒業だ！卒業だ！卒
業だ！あーっつかれた。みんなサイナラ

◆ もう卒業です。みんな元気でまた会
えるといいね♡ばいばい♡

◆ 皆、さよならなんて言えないよォー

ーSee you laterー

◆ すべてをスタートラインにもどって
ギアを入れ直すんだいっ！

◆ もういくつねると卒業式！

ルン♡ルン♡

蛇子 奈美

小山内万紀子

柏川 礼華

木沢 美佳

工藤 淳美

坂本智佐子

佐藤 一美

島端 恵

須田 優子

高井 美重

谷 佳苗

長野江更子

◆ 3年間は、あつという間でしたあ。
すこい！だからプロレスは、鶴田です。

◆ ○年後の私は、きっと女の中の女よ…

ちよつとあなたわらわんといてエーな

山形 紫明

吉田由美子

◆三年教科担任のことば◆

数学を財産に



三河 和宏

現代の日本の数学者は世界的に大へん優秀で、多数海外に人材を送り出しているのが現状だといわれています。流出の原因はあるのですが、数学者ではないけれども、各分野で活躍されている有名人の中で、学生時代数学が好きで良く勉強された方々が多数おられるということ、その理由として、図形の美しさや魅力を感じ、豁然とした数体係に興味をそそられるということとを何かの書物で読んだことが思い出されます。

むずかしく、なかなかなじまない中学校の数学ではありませんが、困難な問題にぶつかり、長時間考え、努力した結果、又、何かのきっかけで解くことが出来た時の成功感は何にもまして格別で、その瞬間の満足感はすばらしいものです。卒業生のみならずもこのような経験を積み重ねていきたいと思います。高校では、なお高度な数学を学習されることですが、各人に適応した学習の仕方を吟味され、一つでも多く成功感、満足感を味わいます。その楽しさを生きた精神の糧とし、人間としてのみがきをますますかけられることを心から願っております。

先生 寄稿

巻頭言をよむ



教頭 亀松 光美

本や雑誌の最初にのせてある言葉として、巻頭言がある。それは、その本の代表であり、その著者の考えや主張を述べているものです。私は巻頭言を自分の心の糧として、必ず読むことにしています。読む場合も、その考え方を理解するために、一度でなく、何回もよみ、それを咀嚼するようにしています。

例えば、

経済白書の巻頭言には、経済白書は、政府が毎年一回、経済の実情を報告するために、とりまとめたものである。など、白書の義務や内容の要点が書かれています。

特に、私は経済や数字に弱いもので、何度も読みなおし、勉強してきたところである。

私は、巻頭言の何枚かを、切り抜き、スクラップにしている。

その大部分は、生徒会誌と校長先生方の会、教頭会、教育関係のものが多いのであるが、

ある方は、その巻頭言に、生涯教育についてかかれていた。記憶をたどって、ご紹介すると、

生涯教育には、成人するまでの教育から、高齢期教育まで、豊かな人間になるためのものである。特に、成人するまでの家庭教育と義務教育、高校教育が大事である。

生涯教育には、次の三つの要素が必要である。基礎知識を体得すること、学ぶ喜びをみつけること、学習の学び方を身につけることを訴えています。

巻頭言と同じ働きで、新聞の社説や論説がある。いうまでもなく社説は各新聞社の代表である。

本や雑誌を読む時は、巻頭言を、新聞なら、理解しずらいだろうが、社説を読むことである。このことによって、物の見方や考え方が、社説が変わってくるのだと思うのである。

それを諸君方にも進めたい。早速、この巻頭言から実行しては。

❖三年教科担任のことば❖

「無題」



伊藤 英実

「大学いも」というのがある。かつて大学は出たけれど職がなくいもを焼きながら売って歩いたところからきているようだ。それとは反対に、つい最近までは高度成長時代といわれ、労働力が不足しネコでもシャクシでも職にありつけた。特に中卒者は高・大卒よりよるかに安い賃金でも職に就いた。特に中卒者ではやがて、会社からの学校訪問は引きも切らない状況であった。私などは、煩わしいので職安に対して、用があればこちらから要請するので、それ以外は学校訪問させないでくれと頼んだものだった。

ところが今はどうだ。学校訪問してくれる会社など一つもない。新聞等で報道される様に、中卒者にとつては全くの就職難となつてしまった。ましてや自分の希望する職につくなどの、どこかの高校に入るよりはるかにむずかしい夢物語りなのだ。

親孝行「親高校」中卒就職とは無理な公式だろう。最後に一言言葉は信用する。巧みであればある程度信用する。内面を見抜く力を持つ。内面の栄養となる知識、さらに未知なる世界に向うための知識を学ぶ。扶さぬが、少なくともそれだけは信用に値すること、思う。お前の言うことなど信用できない人達ではある。今後苦勞しない生き方を信じている。誠にもって幸せ

OH, MY GOD, GOD! (南無三尊)

＝ 3年修学旅行記＝



旅行行程

日次	月日(曜)	行 行 程
1	5月8日(日)	雨 7:15 11:40 14:40 雨 4 便 青 (特 急) 盛 ~東北自動車道・平 泉・東北自動車道~ 花 館 (船内見学) 森 はつかり12号 岡 (盛岡IC~平泉) (中尊寺) (平泉IC~花巻) 巻 11:10 14:15 18:15
2	5月9日(月)	8:00 15:15 旅 ~ 花 巻 市 内 ~ 遠 野~釜 石~浄土ヶ浜 浄土遊覧船 田 宮 館 (高村記念館・宮沢賢治記念館) (昼食) ケ 浜 00 老 古 16:00 16:30
3	5月10日(火)	8:00 旅 ~ 小本 龍泉洞 横木沢橋 明 戸 陸中海岸シーサイドライン 久慈~八戸 ~ 古 館 (本洞・新洞) (昼食) (北山崎展望台) (工業地帯車窓) 牧 17:10
4	5月11日(水)	9:00 14:55 出発まで庭・博物館 旅~十和田市・おいらせ溪流・萱野高原・ねふたの里青 5 便 函 等・館内見学 館 (子ノ口折返し) (昼食) 森 館 14:00 18:45

＜備考＞~~~~~は連絡船————は列車=====バス

修学旅行記

修学旅行 一日目

三年C組 井田 陽子

五月八日、七時十五分に函館を出発し、長い間乗り物にゆられ、平泉の中尊寺については、もう四時近くだった。

東北の旅は初めてではなかったが、限りなく広がるかのように見える田と畑を、それらを囲む青い山々が、いつも都会という空気がぬけ出したような自然のおおらかさをあらためて感じさせてくれる。

そんな情景を窓外に見ながら、この中尊寺についての。おかげで昨夜の寝不足や、乗り物酔いなどの疲れが、少しづつやわらいでゆくような気がした。

バスをおり、好気心を抱きながらガイドさんの案内について、ゆっくり坂を上ってゆく。古めかしい寺や、お堂の傍らでゆれているやわらかな緑色のもみじや竹が、独特の趣をつくっている。寺とか仏教とか、私はあまり関心をもっている方ではないが、そんな寺の傍らに立っていると、身も心も清められてゆ

くような、静かな気持ちになってくる。

平泉は、何百年もの昔藤原氏によって壮大な繁栄時代を築きあげられた地だというのが、こんな静かな地にいると信じられない感じがする。都から遠くはなれた所だけに、繁栄までの苦勞はそうとうなものであったことだろう。古びた、ただずまいの中、金色堂だけが今でもう過ぎ去ってしまった繁栄時代を豪華は仏教美術によつて現在に語りついでいる。

人間なら、だれもが美しい物を求めることだろうが、金色堂には恐しいほどのものを感じる。堂内は、まばゆいばかりに輝き、仏像から柱まで細かい装飾がなされている。すべてが、質素、簡潔という言葉をおぼれさせたようにただずむ姿は、まさに極楽浄土である。

すざましいほどの栄華の象徴を感じさせる中、阿弥陀如来像を本尊とする十一体の仏像の気高い、すべてを見すかすような面持ちは、すでに藤原氏の繁栄の象徴を通りこした静寂の世界、仏教の真の姿をも見い出せるような気がする。藤原氏の盛衰、それにかかわらず、現在も存在する中尊寺、金色堂。

人間のはかなさを感じるとともに、この場に、先人達の祈りが今現在にもいたっていると思うと手をあわせずにはいられないのだ。

修学旅行 第二日目

三年E組 粕川 礼華

なんとなく疲れたせいか、起床時間を数分上まわってしまった。窓から見える景色はいい。五月九日、今日は以前から見たいと思っていた浄土ヶ浜がみられる。こうして朝食をすませ、せまいバスに乗る。ガイドさんは、一生懸命やつてくれるのだが、昨日と変わらず、みんな暗い。ガイドさんの説明をぼんやり聞いていると、八時三十分、高村光太郎記念館に到着した。ミスバショウが咲いているのどかな感じがする。家の中に入ってみただけ、ふんとか何か昔のにおいのようなものを感じた。下は土間で、壁を見ると、ときどき詩や絵がかけてある。きつと智恵子さんのことを心から愛していたんだと思う。山は緑の木々と赤いつつじがとても綺麗だった。

宮沢賢治記念館には、九時五十分に着いた。菜の花が印象的だ。空気がひんやりと冷たい。こんなにきれいで近代的な記念館を、宮沢賢治が生きているうちに見られたらと思った。

ここで、バスの影にあつた電話ボックスに入り、こつそり家へ電話してみた。十円で、おばあちゃんと、十秒にも足りないはなしをした。「あ、もしもし、おばあちゃん？今ね、修学旅行先からなんだけど、げ……で切れてしまった。元氣だよ、とだけ伝えなかつたそのわけ、実はうちのおばあちゃん、猛烈な心配性なのだ。これは死ぬまで直らないだろう。」

午後一時、釜石に到着、そして昼食……いや昼食どころではない。あのだでかい観音様はなんだ!? バスの中から見て思わず汗が出る。あんなに「おきいなあ」って感動したのは生まれてはじめてだ。優しく微笑んでいて、いつも海を見守っているみたいだ。ここをゆっくり見学できなかったのが残念だった。何度もう言うが、ほんとうでかい。写真もとりたかつたがなかなか……。ここの売店で「みちのく風鈴」をひとつ買った。たつたの百五十円だけど、とても涼しそうな、かわいい音。

三時二十分、浄土ヶ浜に着いた。海を背にして記念写真をとる。函館の大森浜がほんとうに海か、といいたくなる。ほんとうに美しい。ちよつとの自由時間、友達と三人で、下の岩へおりてみると、ぶつぶつ小さな黒い黒い物が無数にはりついている。近よってみてギョッとした。見た人はこの恐怖、わかると思

うけど、全部貝だった。ほんとうにふみ場もないくらいたくさん……。岩と岩のすき間なんかは、しじみぐらいの大きさの黒っぽい貝がぎつしりというか、ぎつくりというか、とにかく、すごいなあという感動よりも、不気味と言つたほうが適切だろうし、岩の間の水たまりは、ちゃんと海藻もある。広い海を小さく縮めたみたいだ。なにげなく歩いていたらくつの下でカリツという音がした。汗がにじみ出る。何だつたと思いますか。あ、あの小さな貝が、私の足にふまれた音だったのだ。岩に降りた人は、きつとみんなカリカリしなから歩いたことだろう。その音が耳にこびりついたら同時に、あの感触が私の足をおそつふまれた貝たちは今――

とにかく景色がいい。ここで自由時間がもうすこしあれば、なおさらよかった。しばらくして遊覧船に乗つた。うみねこが沢山いる。船の座席にすわると、先生が、うみねこパンをくれた。この後先生は、一個百円のパンを十個買ったのに、みんな生徒に……と悲しそう(苦笑)いをうかべてくどいていた。この遊覧船の上でうみねこパンをあげたことが、修学旅行の三泊四日の中で一番楽しかった。ず

つと甲板にいたからすこし寒かつたけど、顔から三十センチとはなれていないところを、ストレスに飛んでゆくから、スリルがある。というか、おもしろかつた。みんな白くてきれいなのに、一羽だけ、茶色っぽくて変なのがいた。それが一だんとひきたつて、かわいかつた。友達も、もちろん私も歓声をあげてさわぎまぐつた。おかげで、船は少々ゆれたが、全くよわないうすんだ。もう一度、うみねこを見に行きたい。

宮古国民休暇村に着いたのが五時二十分。わるいけど、花巻の千秋閣よりも、いい感じだつた。あかるいし、窓から山や海がみえるし、部屋はせまかつたけど、またこじんまりして、いごちもよかった。

疲れて早く寝てしまつたけど、二日目が一番、私にとって楽しく印象にのこるようなことばかりの日だつた。いい思い出になつた。



階段

辻 佳名子

五月十日——第三日目は階段の日でした。

まず休暇村で朝を向かえ、朝食のため三階の我部屋から一階の食堂へ。そして、少々マッパンネリであきはじめた朝食をとり、また部屋へ。そして休暇村を出、ほとんど義務付けられた挨拶をして龍泉洞に向かうバスに乗り込みました。

龍泉洞に着き、まず呆然とした。確かにここには階段が沢山あるとは聞いていたけど……と思いつつも上ってゆくと、そこにあつたのは下りの階段。ということは今までずっと上ってきた分を……。なんとか根性で下り、ヤッターと思つた瞬間迷子になつてしまった。(それもこれも高所恐怖症の人が悪いんだあ。飯○さん。あなたのことです!) やつと抜け出し新洞へ向かいました。今度は坂道だったので、幾分楽でした。でもやはりここを出られたときには感動してしまいました。またバスに乗り込み昼食のため明日へ。み

んなでジンギスカンという初めて出会つたごちそうに、肉とキャベツのさらをきれいにしてしまいました。(ちなみにここにも階段は存在していた!)

そして次は北山崎、たしかにすごい、しかし、下りということもあつて、けつこう面白がつて下つていく……。下で写生をすませ、今度はいよいよ登り。下りでも足がガクガクだつていうのと思つたけれど、途中でいいアハアやつてる運中を追い越し一気に上つていく。もう上に着いた時心臓さんが死にそうでした。二往復、三往復したん、ご苦労様!

この階段のせい、ここより古牧に向かうバスの中はとつても静かでした。そして古牧では、私達の部屋は二階だったので食事、買い物、おふろなどで数回階段を上り下りました。

これら階段と最後の大説教(あとでまた説教をうけるので本当は最後ではないけど)のせいでみんな早く部屋に入つて寝たようです。ここは、部屋の中にお手洗ひも洗面所もついていたので便利(?)でした。

最後に、夜(夜中)の見まわりも今夜で終り、先生方本当にご苦労様でした。

トニマ

四日目

尾山 珠生

五月十一日 午前九時 古牧ホテル

修学旅行四日目である。天候は四日の中で一番いい天気。体調の方はさすがに四日目だけあつて疲れがでてきた。などと考えながらバスに乗る。今日の見学地は八甲田山を通じて荳の高原とねぶたの里。

五月十一日 八甲田山

「わあ/雪。」八甲田山を通過して一番最初に強く思つた。私達が行つた日は、暖かつたせいかまだ雪があるということにピンとこない。「山の上だから……」と思つてもやはり違和感があつた。でも雪をなくすると、やっぱり春だなあと思う。緑がすごくきれいだ。ガイドさんがはなします「昔、冬の八甲田山を越えよくとして多勢の兵隊が凍死しました。このことは映画にもなつて……」私は残念ながら映画をみていないし冬山の恐ろしさも知らないからあまり恐怖感はなかった。でも、今でもこれだけ雪があるんだから無理もない

ことなのだろう。その後、映画「八甲田山」の主題歌をガイドさんが歌ってくれた。歌詞の中に「白いカラスが飛ぶ」とあった。それだけなぜか覚えていた。

五月十一日 正午 萱の高原

八甲田山から萱の高原につく。ここは有名な「長生きのお茶」を売っているところだ。有名だけあってさすがに売れている。私も買った。我ながら思う「ただの麦茶が少し名前を変えただけでこれだけ売れるんだから等これを考えた人はえらい！」と。

周りに目をやる。一面緑のしばふと樹木。

ここが高原の基点といわれるのが改めてわかる。帰りざわ、バスの中からどこかの中学校がお弁当をたべているのが見えた。思わず「いいなあ。」と思った。

五月十一日 午後十二時三十分

ねぶたの里

とうとう修学旅行の最後の見学地ねぶたの里に着いた。最初から太鼓の音に迎えられる。私はねぶた祭りを見たことがないのでどんなものかは全然知らない。入ってみる。「うわあ。赤・青・黄などの色彩が美しい。が思っていたよりも少し小さかった。何台ものねぶたが続く。それぞれ細かい所までよくできて

いる。「こんなもの、よく作れるなあ。」とつくづく感心した。これが実際にお祭りの中で使われたらどんな風だろうか。きつともっと大きく感じるのではないか。函館にこんなお祭りが無いのをとても残念に思う。

この場で昼食を取りバスは一路青森駅へと向った。

五月十一日 午後二時 青森駅

駅についたとたんなぜか疲れが一つべんに出てきた。暑さのせいもあつたのだろう。二十七度近くもあつたのだから。

五月十一日 午後三時 連絡船

連絡船の中は友人とのおしゃべりで時がすぎた。そんな中で思った「思ったなあ。」と。そして「もうすぐ函館だ。」とひしひし感じた。

秀句

うみねこの風を横切る初夏の空 外崎英範

波寄せる浄土ヶ浜に夏近し 須田優子

陸中の海もきれいな初夏の色 福田久博

りんごの木その愛らしさに笑みこぼす 成田明美

雪とけて青草見ゆる八甲田 鎌田正志

暗やみに勢いあまるねぶたの里 久保聡美

秀歌

陸中の軍艦思わす日出島は

五月雨にも負けぬものかな 野呂誠一

水清き永遠の流れの龍泉洞 蛇子奈美

雪残る八甲田山さむざむと 冬のきびしさ木々にうつして 久米田久世

啄木のかつて唄った北山崎

春風の中我も訪ねる 中田 宏

龍泉洞水の青さに目を見はり

神秘に満ちた自然美を知る 小松大麗



研修旅行

汗まみれの思い出

一年C組 平

光

苦しかった、でもやって良かった登山。今まで、登山は一回しかない。スタート地点。いよいよ登り始める。(登山ぐらい)そんな気持ちで地面を踏んだ。

最初は楽しく登っていた。みんなと話をしながら歩いていた。道は細い獣道で、周りは水ばかりが生い茂り、気味が悪い。小学生の時、駒ヶ岳を登った風景とは又、ちがう。

駒ヶ岳を登ったのも苦しかったが、恵山もけっこうきつい。だんだん息ぎれしてくるのが自分でも分かった。隣りの人と話ができないくらいだった。道も急になってきて歩きづらくなってきた。足がすべる。きつい。(早く休憩にならないかな)頭の中は、それだけだった。

やっと望みの休憩になった。今まで随分歩

いたように感じた。でも実際は、たいして歩いていなかった。私はその時間で体が普通の状態を取り戻していた。また、登り始めた。休憩時間が短く感じられた。

しばらく歩いているうちに、下のながめがよく見えてきた。まるで天から見下したように美しかった。なんだかその中に、とけこまれそうになった。

道が坂のように急になってきた。息ぎれが激しくなってきた。(もうすぐだろう)そう思いながら登ったが、いっこうに目的地が見えてこない。そう思っているうちに、噴火口らしき所まで来ていた。理科の実験の時かんだにおい、硫黄の独特のにおいがしてきた。そこまで来ていた時は、顔から汗が噴き出していた。もう何も言えないほど、つかれていた。

(目的地に着いた)と思った。が、それは二回目の休憩場だった。しばらく、息切れが絶えなかった。少しじっとして、動けなかった。そういうふうになっている間に、歩き始めていた。今度は目的地直行だ。そう思うと気分がぐんとわいてきて、急に元気が出てきた。それに、道がゆるやかだったせいもある。だんだん目的地の小屋が見えてきた。あ

そこまでだ。頑張ろう。急に足が軽くなった。あ、あともう少し。もうすぐだ。やっと、着いた。今度はまちがいない目的地だ。やっと着いた。そんな気持ちで心の中を駆け回った。もうその時は快感でいっぱいだった。やっぱり風景も美しく、気持ちも良かった。(登って良かった)そんな気持ちで心をやずめた。

文苑

弁論大会

夢

二年A組 山形 幸美

みなさんは、宝物を持っていますか。大切にしているものがありますか。小さいころはだれでも宝物を、持っていたことでしょう。

夢があったことでしょう。しかし、今、夢がある／＼と、はつきり答えられる人は、何人いるでしょうか。

私は、小学校一年生のころ、消しゴムを集めていました。最初は、かわいいのを小さな箱に入れておいただけだったのですが、少しずつ、少しずつ集めていくうちに、いつの間にか、百個以上になっていました。それでも自分の持っていない消しゴムを見つけると、また、買いに行ったものです。ですから、消

しゴムは増える一方で、机の引き出しの中には、いつも百個以上の消しゴムが、ぎっしりと、ならんで入っていました。このころは、増えていくのが、とても楽しみだったのです。たった五十円かそこらの、消しゴムでしたが、私には、すばらしく大切なものだったのです。この消しゴムが、私の宝物だったのです。夢だったのです。

けれども、そんな夢も小学校五・六年で、さめてしまいました。つまり、そんな消しゴムなんて集めても仕方がない、と思うようになってしまったのです。ついこの間まで、一番大切であったものが、いつのまにか、ただただ、間違った字を、消すだけのものになってしまったのです。このときから、消しゴムの数は、増えることを知らず、百個以上あった消しゴムが、今では、影も形もなくなってしまいました。

どんな人間でも、成長するにつれて、夢からさめてしまうものなのでしょうか。夢を見ることが、できなくなってしまうのでしょうか。小さい子の目には、すばらしく大切なものに見えても、どうして、大人の目には、何の価値もない、くだらないものに見えてしまうのでしょうか。

夢とは、人間を、内側から光らせるものだと思います。その人間の心を、動かすものだと思います。一つの夢を、一心不乱に追いかけて、その方向へ進むことが、すべての目標につながるのです。そして、その人間の生き方になると、私は思うのです。しかし、残念なことに、夢は、消えてなくなってしまうのです。ふとしたことで、心の中から、ぬけだしてしまうのです。だからこそ、大人になってしまふと、夢がないのだと思います。いろいろなことを経験し、現実と夢の違いを、まざまざとみてきた、大人たちの目には、夢など色あせたものに、なってしまふのではないのでしょうか。

それでも私は、いつまでも夢を、見ていたいと思います。そして、どこまでも、夢を追いかけていきたいと思っています。

「思いやりの心」について

三年C組 井田 陽子

今年の夏休みのことでした。暇つぶしにテレビを見ていると、突然むごたらしい光景が画面に映し出されました。私は、その光景に思わずくぎづけにされてしまいました。そして、「これは人間ではない。人間であるはずがない。」と、自分の目を疑いました。頭と目が異常に大きく、その黒い膚の上に、くつきりと骨格がうきだしている、すっかりやせこけた、子供の姿でした。「これで生きているのだろうか。」私は、驚きました。しかし、その子は、たしかに動いているのです。弱々しく呼吸をしているのです。私は、言葉を失い、ただ画面に映し出された、死を間近にひかえた、その黒い顔を一心に追っていました。どここの国の光景だったのでしょうか。きっとカンボジアの難民かなにかの特集番組だったのだと思うが、その時の私には、それを調べようとする気力さえ残っていませんでした。やがて、その子は静かに息をひきとり、母親が、やせこけた手で遺体をだきしめ、声を殺し

て泣き始めました。そんな遺体がたくさん横たわっているテントの傍らでは、うつろな目をした母親がぼつんとすわっていました。まるで悪夢のような光景でした。難民たちの苦しみ、が、いたいほど伝わってきました。しかし、テレビをはなれると、私はいつもの幸福な時間にもどっていました。私は、ほっとしてしまいました。と同時に、どんなにむごころうと、私には関係のないことだ。という思いが頭の中をかすめました。私は、あらためて、人の心について考えさせられました。

私たちの生活は、あまりにも平和すぎます。私の頭には、あの光景が、しっかりとやきついていきます。野宿同様の家、ぼろ布をまとった人々、目の光を失った老人やひん死の子供達。それらに比べ私達の生活は、あらゆる必需品のつまったあたたかい家を持ち、整った法律や政治の下で飢えや人としての絶望も知らず、何不自由なくすごしています。そのため、私達に、その苦しみは、わからないのです。私達は、わがらうとは、しないのです。国境というものに、閉ざされたため、他国のことを無視するように、私達は、他人との間にも境目をつくってしまったのではないのでしょうか。互いに干渉せず、めんどろなこ

とにまきこまれないよう、さけあっているのです。ある意味では、大切なことかもしれない。せんが、人情味がなく、コンクリートづくめの冷たい町になってしまっている。他人。という言葉でかたづけしてしまうのは、とてもさびしいことだと思います。

人は昔から力をあわせ、きびしい自然に立ち向ってきました。そしてえたものが、あらゆる機能が発達した世界です。それとはうらはらに人の心は極端な衰退を見せているようです。自分の利益だけを追求める人が増えてきたのではないのでしょうか。

地球上の生物の中で人間しかもっていない心を私達は持っています。私はそれは、思いやりの心。だと思っています。私達が人生を歩んでいくうえで一番大切な心だと思っています。日常生活の中でも、思いやりの心はいつでも存在しています。困っている人がいたら出来るだけ力になってあげるとか、そんな小さな思いやりが、人と人とのすばらしいふれあいをつくってゆくのだと思います。

ある時、大通りでカンボジアの難民救済のための募金をしていました。私は、あのテレビ番組を思い出し、そのまま通り過ぎることが出来ず、少しのお金を箱に入れました。

これが思いやりの心なんだなあ、そう思うと世界が明るくなったような気がしました。そして、いろいろな人と私のつながりが、いくつもみえてきたように思えました。

私達の思いやりは、ほんの小さな出来事にすぎないかもしれませんが、ただ自分の事より先に他人のことを考えてあげるだけで、自然を負かす、大きな力となるのです。

「努力」

二年B組 吉川 由美

努力、私はあきつばいので今まであまり努力などしたことがありません。何をやっても長続きしませんでした。今は私は水泳部に所属していますがそれまでは性格があきつばいのため部活をてん々と変えてきました。私が今まで入部してきた部活の様子をあげてみると、まず一年の初めにバスケット部へ入部しました。入ったきっかけは知っている先輩がいたことと、小学校六年生の時にやっていたバスケットだから簡単にできるだろうと思ったからです。でも三日間でやめてしまいました。その理由としてあげられるのは、ある先

輩に「上級生に向って言葉使いが悪いよ。」と言われたこと。自分ではそんなに悪いとは思っていませんでした。このまま部活が続けられるかしらと心配もありました。先輩は私のために注意してくれたのについてそれがいいやになつて部活をやめてしまいました。バスケットをやめたその後で友達がシュートするのを見て「ああ続けていればよかった。」と後悔の気持ちにかられたこともあります。自分の意志の弱さをあらためて感じました。でも又すぐにクラスメートにさそわれてテニス部へ入りました。テニスは母にもすすめられていたのでこれはいいと思ったからです。テニスは一年の二学期から三学期を通して続けました。私にはとても充実があるように感じました。そのころの私は体が弱く貧血気味で腹痛を訴つたえることがよくありました。ある日朝食を取らずに登校したら胃がしゅうしゅうしくしはげしい腹痛があり呼吸をするのがくるしくてたまりませんでした。食事をほとんど取ることができず入院してしまつたこともありまます。そんな事があつてせっかくすきなテニスもなかなか思うようにいきませんでした。結局は勉強もつかれてうまくいかずテニス部をやめてしまいました。その時はつくづく自

分がいやでなりませんでした。口では努力と簡単に言えましょう。しかし、実行するということはずかしいことです。私はそのことをテニス部の時ほんとによく知らされました。さて、今は私は水泳部に所属しています。前の私とはまったくちがいがいいまいもなく体がじょうぶになりました。自分自身がびつくりするほど体力がついたようです。部活を変えていく中で自分のあきつばさと自分に合つたせんたくの仕方に少しはきずいたようです。それにクロール、平泳ぎが25m泳げなかつたのに25m50m……と、泳げるようになってもうれしいです。背泳ぎも20mも泳げなかつたのに50m以上泳げるようになりました。こもんの石津先生の指示で何回も何回も練習し泳ぎぬいたからだと思います。体力づくりや練習がたらくやめたいなと思つた時もあります。しかし、私は今、ほんとにやめなくてよかつたと思つています。どの部活も同じことが言えるけれどマスターするまでたいへんでしたが、あきずに努力し楽しんでできるように努力したからです。私は部活を通してあることがわかりました。それは根気よくあきずに努力することです。これは部活だけでなくいろいろな場合に通ずることだと思

ます。

私と同じようにあきつばい生徒もいると思います。私達二年生はあと、一年と数ヶ月しかありません。この残り少ない時間を勉強にスポーツにと気合いを入れ少しづつ前進し努力しようではありませんか。

青春・中学校生活には

二年E組 菅原 圭子

とかく中学校は学歴という点から見て、意外と重要視されていないように思います。まあ確かに生まれてはじめて本格的に集団生活を始める小学校。自分の能力に応じた所を自ら探し入っていく高校から比べると影はうすいかもしれません。人間性から見ても小学校、高校はまるで子供と大人ですが、中学校では子供と大人が半々で、物の考え方がとても中途半端なのです。特に今の時期、中学校生活の折り返し点にあたる今は子供から大人へと変わる第一期の地点ではないでしょうか。青春というものと付き合いはじめる時期ではないでしょうか。

この文面を考えていた時、手元に一冊の辞

書がありました。青春と調べてみると「元気があふれ、夢の多い若い時期」とありました。私には元気があふれているかどうかはわかりませんが、夢は今絶大にふくれあがっています。皆さんはどうでしょう。自分を賭けるような夢がありますか。もしそれがあつたならこの時点で実現に一步近付けることが出来るかもしれません。私は、青春とは夢をかなえるため、自分自身に尽くすことだ。と考えているのです。しかし、今考えてみると、夢がないとか夢がもてない、なんていう人もいます。そのような人は自分の生活を充実させてみてはいかがです。忙しい中で何かを見つけ出すことが出来るはずです。私にも夢があります。でも、十中八九かなわないようにでもその夢は私の中でふくらむだけふくらんでどうすることもできません。捨てるにも捨てられず、自分の情けなさに涙が出たり、わかってくれず笑った両親に反抗し家出を考えたこともあります。悩みに悩んで不眠症もどきになり、学校で倒れたこともあります。この夢を持ち続けるか、捨ててしまうか。大きな問題です。しかし、私は多分捨てないでしょう。わずかな可能性に挑戦していくことでしょう。また、皆さんの中には忙しかった

に、夢があっても考える余地もない。夢を持つ暇もない。と考えている人もいます。でも、それは間違いです。忙しくても夢は消えません。私がそうなのです。実に五つを一人でこなしたのです。九月の始めから、もとも代議員だったので運動会の役員に。そこへやってきた生徒会に推薦され悩んだあげく副会長。弁論大会出場。そして文化祭のコンクールに出す新聞ではクラスの編集長となりました。もちろん、それと部活動を並行していくのですから、なまたいのいことではありません。九月の下旬には、まさしく学校内を走りまわり、家に帰ると話したくなくなるとような日も結構ありました。そして自前の偏頭痛で悩まされ、私の頭脳はどこまで限界を悟ったようです。それほどに忙しくても、私はまだ心のどこかで夢を持ち続けています。

皆さん、皆さんの身近な人を見まわして、自分と同じような夢を持ち、同じように悩んでいる人はいませんか。その人とお互いに心を開いて話し合ってみたら、とてもよい結果が出るのではないのでしょうか。

青春とはなんでしょう。一生のうちにこの一時期だけ、自分の夢をかなえるために真面

目に努力できる。そんな時代でしょう。何故こんなものがあるのでしょうか。それは私の今までの経験から言えば、私達にとつて、夢がかなうことほど嬉しいことがないからです。そのために一度だけチャンスがある。と私は思います。中学校はそんなに重要視されないようでも、人生の中では非常に大きな存在です。夢を育てていく大切な課程なのです。青春の実感。それは自分のエネルギーを完全燃焼させ、その後の充実感とほぼ同格のものだと思います。何事からも逃げずに、若さにまかせてぶつかっていくから実感があるのです。私はこれから、今までの行動をなおし、自分を最高に表現していくつもりです。そのためにも夢を捨てる気は決してありません。

言葉について

二年D組 金山 昌幸

人に物事や自分の考えなどを相手に伝える場合に「話す」という方法と文章を使うという方法があります。口で話すということの長所は、相手と、面と向かつて話をするることによつて、相手の反応が表情によつてわかります。それから言葉では、うまく言い表せないこと

も身ぶり手ぶりで話すこともできます。

また、言葉と言葉の間のおき方、イントネーションなども聞き手にわかるので話し言葉の効果を高めることができます。

文章の長所は何度もくり返して読めるとか保存ができるなど効果があります。

口で話す時には、同音異義語、同訓異義語の区別がつきにくいという所短があります。

例えば船で海を渡ることの「航海」。してしまつたことを後になつて残念に思うことの「後悔」。それから同訓異義語の例は、表面へ出してあらわすことの「表す」。かくれたものが出てくることの「現す」。本などを書くことの「著す」など例をあげればきりがありません。前後の関係を考えるとわかれますが説明するとなると、ちよつとできません。

しかしその点文字で表すとすぐにわかります。

このように比較してみますと、どちらがいとも悪いとも言えません。

要するに「話す」時も文章も正しく長所を生かして効果的に使えばよいのです。

人と人との心のふれ合いにも「話す」ということは深くかわってきます。

例えばバスの中で足を踏まれたとします。その時相手が何も言わないと不愉快な気持

ちになるでしょう。

もしこの時「すみません」「ごめんなさい」の言葉があれば、気持ちが変わらうでしょう。

人から物をもらつた時には「ありがとう」の言葉、人に迷惑をかけたなり失礼なことをした時には「すみません」の言葉。

「すみません」「ありがとう」

どれも短い言葉です。しかし普段の生活を明るく過すために必要な言葉であり、また、なかなか口から言い出せない言葉でもあります。

病院に行つた時のことでした。私は待合室のいすにすわっていましたがおばさんが立つていたので席をゆずりました。そのおばさんが「どうもすみません。今の若い人は親切だねえ」と言いました。

私はその時、何か、とてもいい気分になりました。

しかしその帰りに電車の中で高校生ぐらいの人がお年寄りに席をゆずっていたのですが、席をゆずってもらつたお年寄りはお礼も言わずに、だまつて席にすわりました。

私はその時「ありがとう」という言葉の大切さを感じました。

ちよつとした言葉使いが相手の心を明るくもし、また暗くもします。

いつもさわやかに生活をするために、お互いに気をつけたいものです。

こうして文章的な「話す」と日常の生活に
おいての「話す」の二つについて話してきました。

みなさんも言葉の重要性について考えてみてはいかがでしょうか。

生徒会について

二年D組 久保田光留

私は、現在の生徒会のあり方について、思っていることを発表します。

生徒会、といっても、私自身、よく分らない部分もありますが、自分なりに言ってみれば、もともと、生徒会とは、生徒自身の手によって、積極的に、より良い学校生活を生み出していくための働きかけの場であると思っています。

従って、一番大切なことは、自分自身の、生徒会というものに対する受けとめ方を、しっかりさせる、ということになります。

生徒会は、私達一人一人が中心となり、活動していなければならないはずで

しかし、実際には、口で言うほどうまくはいきませんし、生徒自身のもものになっていない、というのが、ほとんどの中学校の現状の様です。

それは、私達一人一人が、「自分は生徒会の一員なんだ」ということを、自覚していないではないでしょうか。

行事の話しあいししろ、生活目標の取り組みにししろ、大半の生徒は無関心のような気がします。まるで目標などは、あつてないようなものです。

これでは、規則や決まりは守らなくても良い、ということを実行しているような結果になってしまいます。

そのため、決まりを作ったり、改めたり、廃止したりすることに対する感覚がなくなつてしまい、歯止めのかかない、無秩序な状態におちいり、自主性を持たない人間になってしまうのではないのでしょうか。

これでは、生徒会どころではなく、自分自身がだめになってしまいます。

自分自身の自主性の持ち方によって、生徒会への参加の仕方も、大いに変わってくると
思います。

生徒会は、各種の専門委員会、代議員会な

どの組織によって運営されていますが、それぞれの委員の中にも、自分の委員としての仕事がほとんどない、とか、そのために、充実した活動ができないという人がいるのではないのでしょうか。

こんなことが続けば、委員としての活動さえ、あつてないようなものになってしまいます。また、これとは反対に、自分は委員をやつていないから、仕事をしなくてもいいと、面倒なことをさげようとする人がいるのも、事実だと思っています。

こんな状態の中で、委員としての仕事をしても、はりあいの出るはずがありません。

委員会や学級がばらばらに動いているだけで、生徒会全体として、まとまった活動になつていませんから、結局はつまらない、無関心だ、という人が出てくることになると思います。

残念ながら、今の私達の心の中には、「生徒会」は、誰かがやるだろうという、いいかげんな気持ちがあるのではないのでしょうか。

一人一人の積極的な意見の持ち寄りや働きかけが生徒会を育て、自分自身を育てることになると思います。

生徒会を良くするのも、悪くするのも、全

て、私達だということですよ。

私達は、生徒会の一員として、もっと、真剣に考えてみる必要があるのではないでしょうか……。



読書感想文

「北の大地に生きる」

を読んで

一年B組 高橋 孝幸

この本は明治時代のころ、北海道の開拓にかけた依田勉三と晩成社の人達を、北海道の厳しい自然を背景に描いたノンフィクションである。

依田勉三は、明治十五（一八八二）年の正月、出身地の静岡県松崎町において、移民開拓を目的にした「晩成社」を結成した。伊豆半島の突端から、やや西によった所に位置する松崎町——ミカンが実り、温泉のわく、あたたかな西伊豆に生まれ、何不自由のない暮しが約束されていたながら、勉三はなぜ多くの困難を承知で、北海道の開拓を志したのであろうか。

このことは、僕がこの本を読んでいく上で、非常に疑問に思った。しかし、この本を何度も読み直しているうちに、勉三の心が、わ

かってきた。

勉三は少年のころ、親せきすじの漢学者、土屋宗三郎の「三余塾」で学んだ。この宗三郎は「農業こそ国の基本」と考えている人でした。報勉三は宗三郎を通して二宮尊徳の業績を知り、開拓で国を豊かにすることを念願とした宗三郎の思想をうやまうようになった。

このような事から勉三は、ただ平凡な一生を過ごすより、荒れ果てた土地を作物の実る豊かな大地に作り変えることによって国家につくしたい——、とこういう気持ちがあったからこそ、自ら開拓を志したのだと思う。

勉三の生まれた伊豆は山国だった。人が多くいわりには耕地が乏しく、農業生産はふるわない。勉三は、北海道に農耕や牧畜にふさわしい土地を探し出して、伊豆の人達を移住させたいと考えました。このような勉三の大志のもとで「晩成社」は設立されたのである。

社を設立した勉三は、生涯の友、鈴木鏡太郎と二人で開墾地を選定するため、北海道へ渡った。開拓しやすい土地にはすでに土族などの開拓団が入っていない。二人は、札幌の県庁で役人から、「十勝に開拓の手の入っていない広い原野がある」と教えられ、確かめに行った。そこはまさに、草原と原生林の広が

る別天地であつた。

勉三は、銃太郎を現地に残して伊豆に戻り耕作者をつつたが、耕作者は北海道と聞いただけでしりごみしてしまい、思うように集まらなかった。

勉三は、おかみさんや子供を含めて、一七二七人の団体をつくり、明治十六（一八八三）年の春、横浜をあとにしてから四十日たつて、目的地のオペリベリ（現在の帯広市東部）に着いた。ここは、勉三が銃太郎と二人で開墾地を選定して来た時、ここが十勝の中心となり、必ず発展するだろう、と見込んだ土地だ。

十三戸二十七人は、待ちわびていた銃太郎に迎えられ、早速、開拓に取りかかったが、自然の試練は予想もしない厳しきで、一行をせめつけた。不順な天候、蚊やブヨとの闘いおこりと呼ばれる熱病におかされる耕作者：などで、開拓はいっこうに、はかどらない。どうやら収穫にこぎつけた麦や豆にもわかにこの地を襲ったバツタの大群に食いつくされてしまい、早くも三戸、四人が脱落していった。冬になると、川をのぼってくるサケをとって、命をつなごうとするが、県は資源保護を理由にサケ漁を禁止。一行を苦しめる。

こんな生活を救ってくれるのは、兄、佐二平からの資金援助であつた。

だが、佐二平の世話になることは、勉三の本意に反していた。佐二平は西伊豆きつての名門、依田家の当主である。銀行や会社の大株主で重役でもあつた。個人の費用で学校をつくるほどの資産家だ。あまりにも偉大な兄弟だ。

しかし、勉三は偉大な兄の元からはなれて自分の力で生きてみたかつた。自分で何ができるかためしてみたかつた。でも兄の送金が無ければ、晩成社はつぶれてしまう。勉三は兄だけがたよりだつた。

勉三は、三年後に、弟、文三郎と共に、オイカマナイ（現在の広尾郡大樹町）に移り、牧場経営に力を注いだ。オペリベリだけにかかわっていたのでは、全滅の恐れさえあつた。このとき周りの人々からひどく非難を受けたが勉三は長い目で何年も先のことを見通していた。

やがて十年後——。勉三はこれまでの開墾の実績が認められ、帯広の開拓の先駆者として政府から緑綬ほう章を授けられていた。

今や十勝平野は目覚めつつあつた。測候所が開設され、商店が立ち並び、工場も建設さ

れ、市街地の区画も高まる……。勉三が銃太郎と共に選定した目に狂いは無かつた——。

晩成社の歴史は失敗の連続だつた。あいにく苦難のうちに解散した。それでも信念を曲げることなくひたむきに生き、また未来をしかと見定め、帯広の発展を確信しながら生きた晩成社の人達は、胸が詰まる思いである。今、私達は、北海道を切り開いたこの人達を大いに尊い、感謝しなければならぬと思う。

「ヒロシマのうた」

一年B組 中川 久子

この本を読み終わったとたんに、私は、戦争はいやだ、絶対にしてはいけないことだと思ひの中でさげびました。

恐ろしい原爆を受けてまっ黒に焼けて死んでしまった人や、やけどをして赤くにごった水を飲んで死んでしまった人や、ミコちゃんのお母さんのように目が見えなくなつて、赤ちゃんのことを心配しながら死んでしまった人たちは、どんな気持ちだつたでしようか。悲しいとか、かわいそうだとかいう言葉では

表せない、もつともつとつらい気持ちがして
いたのではないかと思います。

「ヒロシマのうた」の中で「わたし」は、
死んでしまったお母さんの手から、まだ生き
て、泣いているミコちゃんを、もぎとって、
見知らぬ人にあずけましたが、そのために、
練兵場のテントに帰るのが遅れてしまい、兵
長にしかられ、ひどくぶたれています。でも
「わたし」は赤ちゃんのことを兵長には話し
ませんでした。きっと、この「わたし」は、
戦争の悲しさを非常に強く感じたため、言葉
で説明することが、できなかったのだと思ひ
ます。

戦争で死なせてしまった自分の子供の生ま
れ変わりとしてあの赤ちゃんを、死んだ子と
同じ名前のヒロ子にして、大切に育ててくれ
たお父さんが原爆症の白血病で死んでしま
いました。そして、死んだほんとうの孫のこと
しか愛せないおばあさんの口から、
「おまえはひろわれた子のくせに。」
と、言われていじめられているミコちゃん。

そのミコちゃんをだれかにあずけたいという
相談をするために、兵隊さんだった人に会
いたいと考えたお母さんは、きつと暗い、さび
しい毎日を送っていただろうと思います。で

も、お母さんは、ヒロ子ちゃんの幸せについ
て何度も何度も考え、「わたし」から、死
んでいったミコちゃんのお母さんの話を聞き、
やっぱり、自分の子供として育てようと決心
しました。この日からミコちゃんは、完全
にヒロ子ちゃんになったのだと思います。そし
てヒロ子ちゃんのために、こんないいお母さ
んがいてくれて、本当によかったなあと思ひ
ます。

ヒロ子ちゃんが十七才になった年の原爆記
念の日に、「わたし」とお母さんが相談して、
ヒロ子ちゃんを産んで、死んでいったお母さ
んの話をしあけることになりました。「わ
たし」はヒロ子ちゃんに、そのことを話さな
くてはと思いながらも、死んだお母さんの
話を聞いた時のヒロ子ちゃんのショックを考
えると、いつまでもそのきつかけがつかま
せませんでした。二人で一日中、町を歩き回り、
疲れてしまっても「わたし」は、まだ話しま
せん。こんなことから、ヒロ子ちゃんのこと
とを、真剣に考えてくれている「わたし」の
優しさがわかりました。とうとう流しを見な
がら、「わたし」はついに話を始めました。

私は、ヒロ子ちゃんがかわいそうで胸がド
キドキしてきました。涙をボロボロ流して何

も言わずに下を向いてしまうヒロ子ちゃん
の姿を想像しました。でも、ヒロ子ちゃんは泣
きませんでした。にっこり笑って、

「あたし、お母さんに似てますか？」
と言っています。ヒロ子ちゃんは、今、とて

も幸せだなあと思いました。十七歳になるま
では、つらいことや悲しいことがあったと
思いますが、お母さんの大きな大きな愛の中
で育てられて、こんなに強く、立派な人にな
れたのだと思います。

私達は、戦争のない時代に生まれ、育つて
きました。「ヒロシマのうた」を読み終わっ
て、改めて、平和であることはどんなもの
にもかえることができないほど、ありがたいこ
となのだと思います。

「マザー・テレサ」

を読んで

一年E組 西村真紀子

私はいつも思います。

どうして同じ人間なのに、こんなにも貧富の差があるのでしょうか。

何も悪いこともしていないのに、運悪く不幸せに産まれてきてしまった、恵まれない人達。

それとは逆に、運悪く不幸せに産まれてきた私達。今の私達はぜいたくな生活を送っています。なのに、少しも不幸せな人達のために力を借してあげてはいません。

自分が幸せに暮しているのに、苦しんでいる人達のことなどは、考えていないのです。

幼いころから、このようなことに心をいため、父親に恵まれない人達を救う薬はないのか、と真剣にたずねたテレサ。

不幸せな人達のために一生をささげようと神に誓ったテレサです。

私は自分の幸せだけではなく、恵まれない人達に少しでも希望を持たせよう、又少しでも力になってあげようとして懸命に努力した

テレサに感心しました。

自分も今日からそうなろうと思うのは、簡単ですが、それを実行するとなると、なかなか出来る事ではありません。

テレサのように、いつでも、だれにでも、優しく温かく接してあげれて、とても積極的でないと出来ることではないと思います。

私もテレサを見習い、貧しい人、体の弱い人、こまっている人、さみしい人、これらのかわいそうな人達へ、少しでも愛の手をさしのべてあげられるようになりたいのです。

そして、もう一度、いままでのぜいたくな所、わがままな所、自分勝手な所の悪かった態度を考え直さなければならぬような気がして来しました。

最後に、「マザー・テレサ」を読み終えて、「恵まれない人達を救う薬は「愛」より他にない」と言ったテレサの言葉がいまでも心の中に残っています。

マザー・テレサのような人は、いつまでも元気で活躍してもらいたいのです。



本年度の歩み

— 学校日誌より要約 —

〔四月〕

六日 新任式・入学式・始業式
七日 新入生を迎える会
二二日 身体測定始まる。

〔五月〕

二日 家庭訪問始まる。
八日 修学旅行出発
十日 春の遠足
十一日 修学旅行帰函
十三日 教育相談始まる。
二十日 避難訓練
二五日 体育大会練習始まる。
教育実習生着任

〔六月〕

二日 校内体育大会
七日 中間テスト
十日 生徒総会
十七日 開校記念日
十九日 中体連陸上競技大会

二四日

学級読書会

二九・三十日

宿泊研修（一年）

〔七月〕

六・七日

期末テスト

十六日

映画鑑賞
中体連七種競技会

十九日

父母会

二五日

第一学期終業式

二六日

第二学期始業式

〔八月〕

二二日

校内水泳大会

二六日

実力テスト

三十日

生徒会役員立会演説会

〔九月〕

九日

秋の遠足

十四日

生徒会大運動会

十八日

校内弁論大会

三十日

文化祭

〔十月〕

六・七日

文化祭

十三日

中間テスト

十五日

第六回校内マラソン大会

二二日

教育相談始まる。

〔十一月〕

二五日

学級読書会

〔十二月〕

五・六日

期末テスト

八日

中学校生徒会ブロック会議

十五日

中学校生徒会協議会総会

二四日

父母会始まる

二四日

第二学期終業式

〔二月〕

十九日

第三学期始業式

二五日

実力テスト

三十日

冬の遠足

三一日

期末テスト（三年）

〔二月〕

二二日

私立高入試

〔三月〕

二・三日

期末テスト（一・二年）

六日

公立高入試

十二日

卒業生を送る会

十五日

卒業式

二四日

修了式

01-678-9999

寺岡 守夫	龜松 光美	佐々木 一夫	小林 一雄	板東 忠康	三河 和宏	山岸 岩夫	杉谷 宏	石津 兼一	武田 蓉子	安井 歳男	大坂 邦子	坂田 法行	阿部 雍朗	石名坂克明	網塚 剛充	寺根 正善	長岡 正昭
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

立川	熊谷	早崎	小柳	安藤ヤユエ	小林	安栗恵理子	中川	寺田	島村	日向	平向	伊藤	小林	石井	渡辺	橋詰	竹村
行恵	トシ	石子	昭治		勇		英俊	博	和子	泰子	貞重	英実	康秀	寿八	満	尤子	英夫

【編集後記】

◇今年の「五稜」の出来は、いかがでしょうか。前年度と比べて、何か改善された所はあったでしょうか。正直言って、こういう仕事は初体験だし、また、今までと比べ、特別に工夫したという所も無いので文句の一つもあると思いますが、なにぶん、不慣れなものですので、お許し願います。しかし、僕にとつては、めったにない体験をしたということ、とてもためになりました。最後にカット、写真でお世話になった写真部、那沙の方々、また、いろいろと御指導して下さいました、石名坂先生、そして「五稜」を読んで下さった皆さん、本当にありがとうございました。

〈真狩 弘夫〉

◇「五稜」の編集について、一言。

ほとんどの「五稜」の編集後記を見ると、「来年はもっとよい五稜を作ってくれ」とか「今度の五稜を作る人はまじめにやってくれ」とか、書いてありますが、私はそう思いません。

「俺の作った五稜は最高だあ」と思いたいと思います。

〈鳴海 剛〉

◇どうでした？ 楽しく、心に残るものになったといいなあ。思っているながら作成しました。生徒会の仕事の中で初めて大きなものだったので、全然内容もわからず、手まどつてばかりでした。でも出き終った今になると、とても気持ちの良いものです。「一応私の力も少



しは入って出来上がったんだなあ。感無量ですねえ。私の場合、あまり能率的には出来ませんでした、読んで下さいませ。

〈菅原 圭子〉

◇五稜の編集は、どんなものなのか、わからなかったが、僕にしては、苦勞そのものだった後から思うと、こういう、大きな仕事を最後までやりとげて思うことは、よかったです。

〈笹田 泰賢〉

◇今年の「五稜」のできはどうでしたか？ 初めてのことでありなかなかうまくいきませんでしたけど……。この編集を終えて、ホッとした。みなさん大切にして下さいね。

〈若本 紀子〉

◇こんな大きな仕事は、今まで一度もやったことがありませんでしたので、仕事をあたえられたとき、一生けんめいやらなければ！と思ったけど、少々さばってしまい、先生、先ばい方にめいわくをかけた。そのため責任の重さがよく感じられた。苦勞して作ったこの「五稜」、最後まで楽しんで読んで下さい。

〈吉田 勇〉

◇生まれて初めて、こんな大がかりな仕事をしました。うわさに聞いていたとおり、とっても大変な仕事でした。でも今は「私にもできたんだ」という満足感でいっぱいです。ほんとに「あゝ無事に終わってホッとした」というのが、今の一番の心境です。この「五稜」も今年で二十三号目となりました。この五稜という本は、全校生徒が力を合わせて作り上げた本です。みなさん、いろんな思い出を頭にうかべながら、楽しく読んで下さい。

〈川上 知子〉



函館市立五稜中学校生徒会